

承認番号	研究課題名	研究責任者
3058	小児期発症IgA腎症の治療と予後に関する検討	腎臓小児科 服部元史 教授
3060	透析患者の腎癌における予後予測因子の検討	泌尿器科学 田邊一成 教授
3062	リハビリメイクの効果に関する検討-皮膚心身症患者の支援を中心に-	女性生涯健康センター 檜垣祐子 教授
3064	耳漏より検出したカンジダ属の臨床疫学的検討	感染症科 戸塚恭一 教授
3065	膠原病患者における血流感染症の臨床疫学的背景の検討	感染症科 戸塚恭一 教授
3067	次期全自動免疫測定装置 データ性能評価	中央検査部 川島 真 運営部長
3068	肛門部領域胆管癌における適切な術前胆道ドレナージの検討	消化器外科学 山本雅一 教授
3071	東京都における新生児死亡の調査:新生児死亡登録事業	母子総合医療センター新生児部門 楠田 聡 教授
3073	胃癌患者における体成分分析による術前リスク評価の有用性に関する検討	消化器外科学 山本雅一 教授
3074	血尿がIgA腎症の予後に与える影響の研究	第四内科学 新田孝作 教授
3076	心不全患者におけるヘルスリテラシーが長期的な臨床アウトカムに及ぼす影響	看護部 坂本倫美 看護部長
3077	脳梗塞患者におけるシロスタゾールとクロピドグレルの頸動脈病変と血清脂質に及ぼす影響の検討	神経内科学 内山真一郎 教授
3079	抗凝固療法患者の抜歯後出血頻度に関する研究	歯科口腔外科学 安藤智博 教授
3080	大腸癌同時性腹膜転移症例における予後因子に関する後ろ向き研究	第二外科学 亀岡信悟 教授
3082	慢性腎不全患者の透析導入期における骨ミネラル代謝異常と心血管イベント発症に関する検討	循環器内科学 萩原誠久 教授
3084	肝細胞癌におけるGd-EOB造影MRI肝細胞造影相と長期切除成績についての研究	消化器外科学 山本雅一 教授
3085	肝細胞癌におけるバルーン閉塞下肝動脈化学塞栓術の検討	消化器内科学 立元敬子 教授
3087	乳癌PET/CT検査におけるSUV値と臨床病理学的因子との関連の検討	第二外科学 亀岡信悟 教授
3090	塞栓源不明の脳梗塞(Embolic Strokes of Undetermined Source:ESUS)に関する登録研究 -ESUS Global Registry Project-	神経内科学 北川一夫 教授
3091	非全身放射線照射前処置が成人急性リンパ性白血病に対する同種移植の治療成績に及ぼす影響に関する研究	血液内科学 田中淳司 教授
3093	多脾症と無脾症における胸腹部内臓錯位パターンの比較検討	画像診断・核医学科 坂井修二 教授
3096	無菌性髄膜炎の地域流行における原因ウイルスの検討-2013年	東医療センター小児科 杉原茂孝 教授
3098	新規筋炎特異抗体:抗チロシルtRNA合成酵素抗体の臨床的・病因的意義	膠原病リウマチ痛風センター 山中 寿 教授
3099	全身性エリテマトーデス(SLE)患者における抗PLA2R抗体の検討	膠原病リウマチ痛風センター 山中 寿 教授
3100	全身性エリテマトーデスに併発する蛋白漏出性胃腸症の病態機序の解明	膠原病リウマチ痛風センター 山中 寿 教授
3101	全身性エリテマトーデスに併発する神経障害の病態機序の解明	膠原病リウマチ痛風センター 山中 寿 教授
3102	大腸癌肝転移における熱凝固療法施行症例の検討	第二外科学 亀岡信悟 教授
3107	分光技術による動脈硬化病変研究	第二病理学 小田秀明 教授
3108	遊離皮弁移植術による乳房再建術における皮弁内灌流静脈血分析に関する検討	形成外科学 櫻井裕之 教授
3110	うつ状態に対するaripiprazoleの増強療法における有効性予測因子の検討	精神医学 坂元 薫 教授

承認番号	研究課題名	研究責任者
3111	腎移植後免疫抑制状態での固形腎癌、嚢胞腎癌の生存率、再発に関する検討	泌尿器科学 近藤恒徳 准教授
3113	心不全におけるトルバプタンの利尿効果予測因子としてのBUN/Crの有効性	循環器内科学 萩原誠久 教授
3116	両室ペースキングによる心不全患者の治療効果と予後に関する観察研究	循環器内科学 萩原誠久 教授
3118	腫瘍非形成性乳癌における上皮間葉移行(EMT)に関する検討	第二外科学 亀岡信悟 教授
3119	肉眼的胆管内腫瘍栓(B3またはB4)を伴う肝細胞癌の切除成績、術式について調査研究	消化器外科学 山本雅一 教授
3120	多施設共同での60歳以上のドナーを用いた生体肝移植後のドナー及びレシピエントの成績に関する研究	消化器外科学 山本雅一 教授
3121	高齢者のIgA腎症の臨床・病理的特徴の解明と適切な治療法確立のための研究	第四内科学 新田孝作 教授
3122	オキシコドン塩酸塩水和物導入クリニカルパス作成を目標とした、オキシコドン塩酸塩水和物の処方解析	八千代医療センター神経内科 大橋高志 診療科長
3123	小児急性脳症の後方視的研究	八千代医療センター小児科 寺井 勝 教授
3127	腹部外科症例における静脈血栓塞栓症の現況についての検討	第二外科学 亀岡信悟 教授
3128	本邦におけるループス腎炎治療薬としてのミコフェノール酸モフェチル使用実態に関する後ろ向き調査研究	リウマチ科 川口鎮司 臨床教授
3131	腎部分切除術後の仮性動脈瘤に対する予防的塞栓術の効果についての検討	画像診断学・核医学 坂井修二 教授
3133	造影CTの副腎静脈描出能の検討	画像診断学・核医学 坂井修二 教授
3134	ソラフェニブ、スニチニブの効果予測バイオマーカーの探索(CROSS-J-RCC付帯研究)	泌尿器科学 田邊一成 教授
3135	膠原病患者に対する免疫抑制療法とサイトメガロウイルス感染に関する実態調査	薬剤部 木村利美 薬剤部長
3136	MR Spectroscopyを用いた局所脳温度測定法の検討	八千代医療センター 寺井 勝 病院長
3137	MRIを用いた肝臓・脾臓における脂肪含有率の測定	八千代医療センター 寺井 勝 病院長
3138	VISTA (Volume Isotropic Tse Acquisition)を用いた非造影MR Angiographyの検討	八千代医療センター 寺井 勝 病院長
3139	成人スティル病診断における血清フェリチン、HO-1、CD163測定の臨床的有用性解明のための多施設共同研究	リウマチ科 川口鎮司 臨床教授
3142	成人スティル病の病型分類と臨床的特徴に関する後ろ向き臨床研究	リウマチ科 川口鎮司 臨床教授
3144	TRC法による大腸癌術中腹腔洗浄液中CEA-mRNA測定の検討	第二外科学 亀岡信悟 教授
3145	妊娠糖尿病(GDM)新診断基準導入前後での周産期予後に関する後方視的検討	八千代医療センター母体胎児科・婦人科 正岡直樹 教授
3146	胎盤異常の周産期リスクに関する後方視的検討	八千代医療センター母体胎児科・婦人科 正岡直樹 教授
3147	産科領域のDIC治療に関する後方視的検討	八千代医療センター母体胎児科・婦人科 正岡直樹 教授
3148	高齢妊娠および卵子提供後妊娠の周産期リスクに関する後方視的検討	八千代医療センター母体胎児科・婦人科 正岡直樹 教授
3150	開心術における周術期の出血量、血液製剤使用量に対してトラネキサム酸およびトロンボエラストメリー(ROTEM)使用の有用性	東医療センター麻酔科 小森万希子 教授
3151	トリグリセリド(TG)は遊離グリセリドを含めて測定すべきか	糖尿代謝内科 佐藤麻子 教授
3152	新規抗凝固剤投与下における抜歯の安全性に関する多施設共同研究	歯科口腔外科学 安藤智博 教授
3153	一般内科外来における愁訴に関する多施設共同研究-復帰医師が外来を担うための教育体制整備へ向けて	男女共同参画推進局女性医師再教育センター兼女性生涯健康センター 檜垣祐子 教授
3154	脊髄性筋萎縮症の自然歴調査研究	遺伝子医療センター 斎藤加代子 教授

承認番号	研究課題名	研究責任者
3155	進行性大脳白質障害の疾患概念の確立と鑑別診断法の開発	統合医科学研究所 三谷昌平 所長
3160	肝門部胆肝癌におけるmulti-detector CT導入による進展度診断向上の検討	消化器外科学 山本雅一 教授

平成 26 年 4 月 2 日

腎臓小児科に通院中（または過去に通院・入院されたことのある）の
患者さんまたはご家族の方へ

ー臨床研究に関する情報および臨床研究に対するご協力をお願いー

当院では、以下の臨床研究を実施しております。この研究は、通常の診療で得られた過去の記録をまとめることによって行います。この研究に関するお問い合わせなどがありましたら、以下の「問い合わせ先」へご照会ください。

【研究課題名】 小児期発症 IgA 腎症の治療と予後に関する検討

【研究機関】 東京女子医科大学病院腎臓小児科

【研究責任者】 服部元史、腎臓小児科、教授

【研究の目的】

小児期に IgA 腎症を発症した患者さんの長期予後を調査するため

【研究の方法】

●対象となる患者さん

16 歳未満で IgA 腎症を発症した患者さん

●利用するカルテ情報

初診時から平成 26 年 3 月 31 日までの以下のカルテ情報を利用させていただきます。

年齢、性別、身体所見、検査結果（血液検査、尿検査、腎生検結果、画像検査、心電図検査）、治療内容、治療中の問題点

【個人情報の取り扱い】

利用する情報からは、お名前、住所など、患者さんを直接同定できる個人情報は削除します。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も患者さんを特定できる個人情報は利用しません。

*上記の研究にカルテ情報を利用することをご了解いただけない場合は、以下にご連絡ください。

【問い合わせ先】

東京都新宿区河田町 8-1

東京女子医科大学病院腎臓小児科 担当医師 秋岡祐子

電話 03-3353-8111 FAX 03-3356-0293

平成 26 年 4 月 5 日

泌尿器科に通院中の患者さんへ（臨床研究に関する情報）

当院では、以下の臨床研究を実施しております。この研究は、通常の診療で得られた過去の記録をまとめることによって行います。この研究に関するお問い合わせなどがありましたら、以下の「問い合わせ先」へご照会ください。

[研究課題名] 「透析患者の腎癌における予後予測因子の検討」

[研究機関] 東京女子医科大学病院泌尿器科

[研究責任者] 主任教授 田邊 一成

[研究の目的]

透析患者の腎癌に対して外科的治療や分子標的薬治療を行う際の予後予測因子を検討する。

[研究の方法]

●対象となる患者さん

末期腎不全で維持透析中の患者さんで、昭和 54 年 4 月 1 日から平成 26 年 3 月 31 日の間に腎癌に対して腎摘除術あるいは分子標的薬治療を受けた方

●利用するカルテ情報

- ①年齢、性別、透析歴、身体所見、理学所見、血液検査結果、画像診断結果（CT, MRI、シンチグラフィー）
- ②手術所見、手術成績（手術時間、出血量、合併症、退院日）、病理検査結果

[個人情報の取り扱い]

利用する情報からは、お名前、住所など、患者さんを直接同定できる個人情報は削除します。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も患者さんを特定できる個人情報は利用しません。

* 上記の研究にカルテ情報を利用することをご了解いただけない場合は、以下にご連絡ください。

[問い合わせ先]

東京都新宿区河田町 8-1

東京女子医科大学病院泌尿器科 担当医師 大前 憲史

電話 03-3353-8111 FAX 03-3356-0293

平成 26 年 2 月 14 日

リハビリメイクの施術を受けられたことのある患者さんまたはご家族の方へ
ー臨床研究に関する情報および臨床研究に対するご協力をお願いー

当院では、以下の臨床研究を実施しております。この研究は、通常の診療で得られた過去の記録をまとめることによって行います。この研究に関するお問い合わせなどがありましたら、以下の「問い合わせ先」へご照会ください。

[研究課題名] 「リハビリメイクの効果に関する検討ー皮膚心身症患者の支援を中心にー」

[研究機関] 東京女子医科大学附属女性生涯健康センター

[研究責任者] 檜垣祐子 東京女子医科大学附属女性生涯健康センター 教授

[研究の目的]

外見の問題に悩む女性を対象としたリハビリメイクによるボディイメージや QOL (Quality of Life: 生活の質) への効果を調査し、外見の問題に加えて皮膚症状の不快感などのストレスが大きいとされる皮膚心身症患者様への支援のあり方を検討することを目的としています。

[研究の方法]

●対象となる患者さん

2005 年 7 月から 2007 年 10 月の間にリハビリメイクの施術を受けられた方

●利用するカルテ情報

年齢、外観上の問題の部位・症状、診断名、既往歴

アンケートへの記載内容 (QOL 評価尺度 WHO-QOL26、皮膚疾患得意的 QOL 尺度 Skindex-16、皮膚ボディイメージ評価尺度 CBIS、自分の外観に対する Visual Analog Scale (VAS)、リハビリメイクによる生活への影響に関する質問票)

[個人情報の取り扱い]

利用する情報からは、お名前、住所など、患者さんを直接同定できる個人情報は削除します。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も患者さんを特定できる個人情報は利用しません。

* 上記の研究にカルテ情報を利用することをご了解いただけない場合は、以下にご連絡ください。

[問い合わせ先]

東京都新宿区河田町 8-1

東京女子医科大学病院附属女性生涯健康センター 担当 渡邊 郁子 (臨床心理士)

電話 03-5363-0723 FAX 03-5363-0802

平成 26 年 3 月 21 日

東京女子医科大学病院に入院されたことのある患者さんまたはご家族の方へ
-臨床研究に関する情報および臨床研究に対するご協力のお願い-

当院では、以下の臨床研究を実施しております。この研究は、通常の診療で得られた過去の記録をまとめることによって行います。この研究に関するお問い合わせなどがありましたら、以下の「問い合わせ先」へご照会ください。

[研究課題名] 耳漏より検出したカンジダ属の臨床疫学的検討

[研究機関] 東京女子医科大学病院感染症科

[研究責任者] 感染症科 教授 戸塚恭一

[研究の目的] カンジダ属はヒトに重篤な感染症をひきおこす真菌(かび)のひとつです。このカンジダ属が耳漏より検出されることがありますが、その頻度やこの真菌が中耳炎などの耳感染症にどのように影響するのか明らかではありません。本研究によって、カンジダ属と耳感染症との関係を明らかにし、適切な治療薬選択に寄与することを目的としています。

[研究の方法]

●対象となる患者さん

東京女子医科大学病院に外来通院、入院中または入院したことがある患者さんで、平成 16 年 9 月 1 日から平成 25 年 8 月 31 日の間に耳漏培養検査よりカンジダ属を検出した患者様

●利用するカルテ情報

*年齢・性別・診断名・検査結果(血液検査、培養検査)・外科治療の有無・転帰

[個人情報の取り扱い]

利用する情報からは、お名前、住所など、患者さんを直接同定できる個人情報は削除します。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も患者さんを特定できる個人情報は利用しません。

*上記の研究にカルテ情報を利用することをご了解いただけない場合は、以下にご連絡ください。

[問い合わせ先]

東京都新宿区河田町 8-1

東京女子医科大学病院感染症科医局

担当医師 平井由児

電話 03-33538111 (内線 39321)

FAX 03-3358-8995

平成 26 年 3 月 21 日

東京女子医科大学病院に入院されたことのある患者さんまたはご家族の方へ
-臨床研究に関する情報および臨床研究に対するご協力をお願い-

当院では、以下の臨床研究を実施しております。この研究は、通常の診療で得られた過去の記録をまとめることによって行います。この研究に関するお問い合わせなどがありましたら、以下の「問い合わせ先」へご照会ください。

【研究課題名】 膠原病患者における血流感染症の臨床疫学的背景の検討

【研究機関】 東京女子医科大学病院感染症科

【研究責任者】 感染症科 教授 戸塚恭一

【研究の目的】

膠原病に罹患されている患者様にとって、感染症は生命の危機的状況をもたらす重篤な疾患のひとつです。その中でも血流感染症は血液の中で細菌が増殖することによっておきる大変重篤な感染症です。本研究は、膠原病患者さんに発症した血流感染症の原因や予後を明らかにすることで、膠原病患者における血流感染症の予後を改善することを目的としています。

【研究の方法】

●対象となる患者さん

東京女子医科大学病院膠原病リウマチ痛風センターに外来通院、入院中または入院したことがある患者さんで、平成 22 年 4 月 1 日から平成 26 年 1 月 31 日の間に血液培養検査が陽性となった方

●利用するカルテ情報

*年齢・性別・診断名・身体所見・検査結果（血液検査、画像検査、培養検査）・治療内容・転帰

【個人情報の取り扱い】

利用する情報からは、お名前、住所など、患者さんを直接同定できる個人情報は削除します。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も患者さんを特定できる個人情報は利用しません。

*上記の研究にカルテ情報を利用することをご了解いただけない場合は、以下にご連絡ください。

【問い合わせ先】

東京都新宿区河田町 8-1

東京女子医科大学病院感染症科医局

担当医師 平井由児

電話 03-33538111 (内線 39321)

FAX 03-3358-8995

東京女子医科大学病院に入院または通院中の
患者さんまたはご家族の方へ

ー臨床研究に関する情報および臨床研究に対するご協力のお願いー

当院では、以下の臨床研究を実施しております。この研究は、検査後に残った検体(残余検体)を用いて行います。この研究に関するお問い合わせなどがありましたら、以下の「問い合わせ先」へご照会ください。

【研究課題名】 次期全自動免疫測定装置のデータ性能評価

【研究機関】 東京女子医科大学病院 中央検査部

【研究責任者】 東京女子医科大学病院 中央検査部 運営部長 川島 眞

【研究の目的】

免疫血清検査とは、ウィルスに感染しているかどうか、体にがんがあるかどうか、ホルモンに異常はないか、などを調べるための検査です。近年、免疫血清検査は迅速な結果報告が求められており、これに対応する検査装置の開発が期待されています。今回、このような医療要望に対応した新しい免疫測定装置を開発されましたので、病院で使えるかどうかを調べます。

【研究の方法】

●対象となる患者さん

平成 26 年〇月〇日から平成 26 年 12 月 31 日の間、免疫血清検査の依頼があった患者さんの残余検体がある方。

●利用する検体およびカルテ情報

検 体：血液（検査後に残った血液）

カルテ情報：診断名，血液検査結果

【個人情報の取り扱い】

利用する情報からは、お名前、住所など、患者さんを直接同定できる個人情報は削除します。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も患者さんを特定できる個人情報は利用しません。

*本研究には、どなたの検体か判らないようにした残余検体を使用しますので、検体・カルテ情報の利用を了解しない旨のお申し出を受けることができませんので、ご了承ください。

【問い合わせ先】

東京都新宿区河田町 8-1

東京女子医科大学病院 中央検査部 技師長 三浦ひとみ

電話 03-3353-8112 (38215) FAX 03-5269-7469

平成 25 年 5 月末日

消化器外科に通院中の患者さんへ（臨床研究に関する情報）

当院では、以下の臨床研究を実施しております。この研究は、通常の診療で得られた過去の記録をまとめることによって行います。この研究に関するお問い合わせなどがありましたら、以下の「問い合わせ先」へご照会ください。

【研究課題名】

肝門部領域胆管癌に対する至適なドレナージ方法の検討

【研究機関】 東京女子医科大学病院 消化器外科

【研究責任者】 山本雅一 消化器外科 教授

【研究の目的】 肝門部領域胆管癌に対する適切なドレナージ方法の検討

【研究の方法】

●対象となる患者さん

肝門部胆管癌の患者さんで 2000 年 1 月 1 日から 2014 年 3 月 30 日の間に手術治療（切除術）を受けた方

●利用するカルテ情報

手術日、退院日、予後確認日、術後在院日数、初回再発発見日、予後、生存期間、無再発生存期間、前医ドレナージ方法、当院ドレナージ方法、膵炎有無、胆管炎有無、出血有無、再発有無、再発様式、年齢、性別、Bithmuth 分類、CEA、CA19-9、ICGR15、T-Bil、D-Bil、AST、ALT、Alb、CHE、PT%、WBC、リンパ球数、CRP、ASA、胆汁細胞診、PTPE、術式、出血量、輸血量、術後合併症、癌遺残度、切除標本の病理所見、術後補助療法、化学療法、放射線療法、胆管炎有無、身長、体重、並存疾患、残存予定肝の胆汁中 T-Bil 量、残存予定肝体積、切除率

【個人情報の取り扱い】

利用する情報からは、お名前、住所など、患者さんを直接同定できる個人情報は削除します。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も患者さんを特定できる個人情報は利用しません。

＊上記の研究にカルテ情報を利用することをご了解いただけない場合は、以下にご連絡ください。

【問い合わせ先】

東京都新宿区河田町 8-1

東京女子医科大学病院 消化器外科

担当医師 樋口亮太

電話 03-3353-8111 (内線 25116) FAX 03-5269-7507

平成 26 年 4 月 15 日

新生児科に通院中（または過去に通院・入院されたことのある）の
患者さんまたはご家族の方へ

－臨床研究に関する情報および臨床研究に対するご協力のお願い－

当院では、以下の臨床研究を実施しております。この研究は、通常の診療で得られた過去の記録をまとめることによって行います。この研究に関するお問い合わせなどがありましたら、以下の「問い合わせ先」へご照会ください。

【研究課題名】 「東京都における新生児死亡の調査： 新生児死亡登録事業の普及」

【研究機関】 東京女子医科大学病院 母子総合医療センター 新生児部門

【研究責任者】 楠田 聡 東京女子医科大学 母子総合医療センター新生児部門 教授

【研究の目的】

新生児医療と新生児死亡率の改善につなげるため、新生児死亡の実態を調査しその状況を把握する。

【研究の方法】

対象となる患者さん

2011 年 1 月 1 日以降に、新生児死亡を取り扱う可能性のある都内の全医療機関において新生児治療病棟内で死亡した児

●利用する検体およびカルテ情報

検体：カルテ情報：以下の情報を収集します。

① 新生児情報

1) 生年月日（出生時間も含む） 2) 在胎期間 3) 出生体重 4) 性別 5) アプガースコア 6) 胎位（頭位、骨盤位、横位、その他） 7) 多胎の有無（多胎であれば、○胎の○子） 8) 娩出方法（経膣 自然/吸引/鉗子/その他、帝王切開 適応） 9) 出生の場所（自院、他院、その他） 10) 出生地の住所（東京 23 区内、東京都内、都外） 11) 出生地の種別（病院、診療所、助産所） 12) 分娩取り扱い者（小児科医、助産師、その他）

② 死亡日時

1) 死亡年月日と死亡届、死産届の有無 2) 死亡した時点での生後日数（生後 24 時間未満の場合その時間）

③ 母親について

1) 年齢 2) 配偶者の有無 3) 住所 4) 妊娠分娩歴 5) 妊娠中の異常(切迫流産、切迫早産、妊娠高血圧症候群(PIH)、糖尿病、前置胎盤、胎盤早期剥離、胎児機能不全(NRFS)、前期破水、羊水過多、羊水過少、不明、その他) 6) 不妊治療の有無: あればその原因、方法 7) 出生前診断の有無: あればその方法 8) 妊婦健診の有無(未受診の場合その理由 例) 経済的理由、移動手段の欠如、文化/言葉/宗教上の理由、医療不信、養育者のパートナーが認めない(DVの有無)など 9) 家族内喫煙者の有無 10) その他母体に関することを記述

④ 搬送の有無

- 1) 新生児搬送の場合 (ア) 搬送日時 (イ) 搬送者の分娩立会 (ウ) 搬送主体(受け入側、紹介側、三角搬送、その他) (エ) 搬送者(医師、助産師、その他) (オ) 救急車(病院専属車、自治体救急車、その他)
- 2) 母体搬送の場合 (ア) 搬送日時 (イ) 紹介元住所(都内 23 区、都内、都外) (ウ) 紹介元種別(病院、診療所、助産所)

⑤ 入院の総括

- 1) 主死因 2) 病名診断 ((ア) 主疾患(または原疾患) (イ) 副疾患)

⑥ 入院中の処置

- 1) モニタリング: 経皮 P02、経皮 PC02、Sp02、A ライン、PR モニター、観血的血圧測定、その他
- 2) 検査: 血液ガス、頭部エコー、心エコー、腹部エコー、胸腹部エックス線、CT/MRI、脳波、その他
- 3) 処置: 酸素投与、気管挿管、人工換気、HF0、Nasal DPAP、輸液、中心静脈栄養、その他
- 4) 治療: STA 補充、NO 吸入、低体温療法、腹膜透析、血液透析、カテコラミン、ステロイド投与、鎮静薬、輸血、抗 DIC 療法、交換輸血、手術、ECMO、その他
- 5) 剖検の有無、その所見

⑦ 死亡についての検討

- 1) 以下の項目についてチェックする

(ア) 新生児自体に問題がある (イ) 新生児疾患以外に関与する問題がある (ウ) 新生児管理において改善の余地がある(医療技術面、設備、管理体制など) (エ) 母体自身に問題がある (オ) 母体管理において改善の余地がある (カ) 母体搬送において改善の余地がある (キ) 死因不明で判断しがたい (ク) その他の問題

2) 上記について具体的な状況と問題点を記入してもらう

2) その症例における今後改善を要すると思われる点があれば記入してもらう

⑧ 死亡の状況について

1) 死亡時に治療を Withdraw したか Withhold したか 2) した場合にはその具体的な内容を記入

[個人情報の取り扱い]

利用する情報からは、お名前、住所など、患者さんを直接同定できる個人情報は削除します。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も患者さんを特定できる個人情報は利用しません。

*上記の研究にカルテ情報を利用することをご了解いただけない場合は、以下にご連絡ください。

[問い合わせ先]

東京都新宿区河田町 8-1

東京女子医科大学病院母子総合医療センター 新生児医学科 担当医師 中西秀彦

電話 03-3353-8111 FAX 03-5269-7668

平成 26 年 3 月 17 日

消化器外科に通院中（または過去に通院・入院されたことのある）の
患者さんまたはご家族の方へ

ー臨床研究に関する情報および臨床研究に対するご協力のお願いー

当院では、以下の臨床研究を実施しております。この研究は、通常の診療で得られた過去の記録をまとめることによって行います。この研究に関するお問い合わせなどがありましたら、以下の「問い合わせ先」へご照会ください。

〔研究課題名〕

胃癌患者における体成分分析による術前リスク評価の有用性に関する検討

〔研究機関〕 東京女子医科大学病院 消化器外科

〔研究責任者〕

山本 雅一 東京女子医科大学 消化器外科 主任教授

〔研究の目的〕

胃癌患者に対する術前生体電気インピーダンス法による体成分分析検査（InBody）の有用性を検討するため

〔研究の方法〕

●対象となる患者さん

胃癌の患者さんで、平成 23 年 9 月 1 日から平成 25 年 7 月 31 日の間に手術治療を受けた方

●利用するカルテ情報

診断名、年齢、性別、身体所見、検査結果（血液検査、画像検査、体成分分析検査）、術前併存疾患、術式、病期、術後合併症。

〔個人情報の取り扱い〕

利用する情報からは、お名前、住所など、患者さんを直接同定できる個人情報は削除します。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も患者さんを特定できる個人情報は利用しません。

*上記の研究にカルテ情報を利用することをご了解いただけない場合は、以下にご連絡ください。

〔問い合わせ先〕

東京都新宿区河田町 8-1

東京女子医科大学病院消化器外科 担当医師 山田卓司

電話 03-3353-8111 FAX 03-5269-7507

平成 26 年 4 月 7 日

腎臓内科に通院中（または過去に通院・入院されたことのある）の
患者さんまたはご家族の方へ

-臨床研究に関する情報および臨床研究に対するご協力をお願い-

当院では、以下の臨床研究を実施しております。この研究は、通常の診療で得られた過去の記録をまとめることによって行います。この研究に関するお問い合わせなどがありましたら、以下の「問い合わせ先」へご照会ください。

[研究課題名] 血尿が IgA 腎症の予後に与える影響の研究

[研究機関] 東京女子医科大学病院腎臓内科

[研究責任者] 新田孝作 東京女子医科大学腎臓内科主任教授

[研究の目的]

IgA 腎症に対する血尿の意義を明確にするため

[研究の方法]

●対象となる患者さん

1980 年より 2005 年までの間に、当施設において腎生検により IgA 腎症と診断された方の中で、腎生検時蛋白尿 0.5g/日以下でかつステロイド、免疫抑制剤、扁桃腺摘出術を初期治療として施行されなかった方、もしくは腎生検時蛋白尿 1.0g/日以上でかつ体重 1kg あたり 0.8mg/日のプレドニン®による加療を初期治療として施行された方。

●利用するカルテ情報

性別、生年月日、身長、体重、血圧、主な既往歴、検査結果（腎生検結果、血液検査、尿検査）、使用薬剤、腎機能・血圧・尿所見の推移

[個人情報の取り扱い]

利用する情報からは、お名前、住所など、患者さんを直接同定できる個人情報は削除します。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も患者さんを特定できる個人情報は利用しません。

* 上記の研究にカルテ情報を利用することをご了解いただけない場合は、以下にご連絡ください。

[問い合わせ先]

東京都新宿区河田町 8-1

東京女子医科大学病院腎臓内科 担当医師 森山能仁

電話 03-3353-8111-36441 FAX 03-3356-0293

平成 26 年 3 月 29 日

東京女子医科大学病院に通院中（または過去に通院・入院されたことのある）
の患者さんへ

ー臨床研究に関する情報および臨床研究に対するご協力のお願いー

当院では、以下の臨床研究を実施しております。この研究は、通常の診療で得られた過去の記録をまとめることによって行います。この研究に関するお問い合わせなどがありましたら、以下の「問い合わせ先」へご照会ください。

【研究課題名】 心不全患者におけるヘルスリテラシーが長期的な臨床アウトカムに及ぼす影響

【研究機関】 東京女子医科大学病院看護部

【研究責任者】 坂本倫美 東京女子医科大学病院 看護部 看護部長

【研究の目的】 ヘルスリテラシーと再入院などの病状悪化との関連を検討するため

【研究の方法】

●対象となる患者さん

平成 24 年 4 月から平成 25 年 3 月の間に「心不全患者のヘルスリテラシーを活用した自己管理プログラムの開発」に関する研究にご参加いただいた患者さん

●利用するカルテ情報

再入院の有無と理由、通院状況などをカルテから調査します。

【個人情報の取り扱い】

利用する情報からは、お名前、住所など、患者さんを直接同定できる個人情報は削除します。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も患者さんを特定できる個人情報は利用しません。

* 上記の研究にカルテ情報を利用することをご了解いただけない場合は、以下にご連絡ください。

【問い合わせ先】

東京都新宿区河田町 8-1

東京女子医科大学病院看護部

担当者 小泉雅子

03(3353)8112 (PHS:29068)

平成 25 年 10 月 22 日

神経内科に通院中（または過去に通院・入院されたことのある）の 患者さんまたはご家族の方へ

-臨床研究に関する情報および臨床研究に対するご協力のお願い-

当院では、以下の臨床研究を実施しております。この研究は、通常の診療で得られた過去の記録をまとめることによって行います。この研究に関するお問い合わせなどがありましたら、以下の「問い合わせ先」へご照会ください。

【研究課題名】 脳梗塞患者さんのシロスタゾールとクロピドグレルの頸動脈病変と血清脂質に及ぼす影響

【研究機関】 東京女子医科大学病院 神経内科

【研究責任者】 東京女子医科大学 神経内科 主任教授 内山真一郎

【研究の目的】

脳梗塞患者さんにおける抗血小板薬の頸動脈の内膜中膜複合体厚(Intima-media thickness:IMT)改善および血清脂質改善効果を比較するため。

【研究の方法】

●対象となる患者さん

脳梗塞慢性期の患者さんで、平成 20 年 6 月 1 日から平成 22 年 6 月 30 日の間にプレタール(一般名:シロスタゾール)かプラビックス(一般名:クロピドグレル)を処方されて、頸動脈エコー上の IMT 検査を受けた方

●利用するカルテ情報

診断名、年齢、性別、合併症(高血圧、脂質異常症、糖尿病)、検査結果(頸動脈 IMT、総コレステロール、HDL コレステロール、LDL コレステロール、中性脂肪)、処方された抗血小板薬、処方された脂質異常症治療薬

【個人情報の取り扱い】

利用する情報からは、お名前、住所など、患者さんを直接同定できる個人情報は削除します。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も患者さんを特定できる個人情報は利用しません。

*上記の研究にカルテ情報を利用することをご了解いただけない場合は、以下にご連絡ください。

【問い合わせ先】

東京都新宿区河田町 8-1

東京女子医科大学病院神経内科

担当医師 宇野 洋美

電話 03-3353-8112 (内線 39232)

FAX 03-5269-7324

平成 26 年 4 月 01 日

歯科口腔外科に通院中の患者さんへ（臨床研究に関する情報）

当院では、以下の臨床研究を実施しております。この研究は、通常の診療で得られた過去の記録をまとめることによって行います。このような研究は、厚生労働省の「臨床研究に関する倫理指針」の規定により、対象となる患者さんのお一人ずつから直接同意を得るのではなく、研究内容の情報を公開することが必要とされております。この研究に関するお問い合わせなどがありましたら、以下の「問い合わせ先」へご照会ください。

【研究課題名】 抗凝固療法患者の抜歯後出血頻度に関する研究

【研究機関】 東京女子医科大学病院歯科口腔外科

【研究責任者】 安藤智博 歯科口腔外科 教授

【研究の目的】

抗凝固療法中患者の抜歯後出血について調査する

【研究の方法】

●対象となる患者さん

抗凝固薬内服患者で、2010 年 1 月 1 日から 2012 年 3 月 31 日までの間に歯科口腔外科に入院し抜歯をした患者さん

●利用するカルテ情報

年齢、性別、抗凝固療法の原疾患、抜歯部位、抜歯に至った病名、血液検査結果、抜歯手技、X線検査所見、併用している抗血小板薬、抜歯後出血の有無、等

【個人情報の取り扱い】

利用する情報からは、お名前、住所など、患者さんを直接特定できる個人情報は削除します。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も患者さんを特定できる個人情報は利用しません。

＊上記の研究にカルテ情報を利用することをご了解いただけない場合は、以下にご連絡

【問い合わせ先】

東京都新宿区河田町 8-1

東京女子医科大学病院歯科口腔外科 担当医師 片岡利之

電話 03-3353-8111 FAX 03-5269-2367

平成 26 年 4 月 11 日

第二外科に通院中（または過去に通院・入院されたことのある）の 患者さんまたはご家族の方へ

-臨床研究に関する情報および臨床研究に対するご協力のお願い-

当院では、以下の臨床研究を実施しております。この研究は、通常の診療で得られた過去の記録をまとめることによって行います。この研究に関するお問い合わせなどがありましたら、以下の「問い合わせ先」へご照会ください。

【研究課題名】 大腸癌同時性腹膜転移症例における予後因子に関する後ろ向き研究

【研究機関】 東京女子医科大学病院第二外科

【研究責任者】 亀岡信悟 第二外科 主任教授

【研究の目的】

大腸癌の同時性腹膜転移症例の予後因子を明らかとして、実臨床での指適な治療法選択ができるようにするため。

【研究の方法】

●対象となる患者さん

大腸癌手術時に腹膜転移を認めた患者さんで、1987 年 4 月 1 日から 2011 年 3 月 31 日の間に大腸癌の治療を受けた方のうち、同時に腹膜転移を認めた方

●利用するカルテ情報

- ①年齢
- ②性別
- ③占居部位
- ④壁深達度
- ⑤組織型
- ⑥リンパ節転移
- ⑦他の遠隔転移（肝、肺、骨、脳など）の有無、治療法、治療日
- ⑧腹膜播種の程度
- ⑨原発巣切除の有無、切除日
- ⑩化学療法施行の有無・治療レジメン
- ⑪performance status
- ⑫生存期間
- ⑬手術時期
- ⑭血液検査（末梢血、生化学、腫瘍マーカー）

【個人情報の取り扱い】

利用する情報からは、お名前、住所など、患者さんを直接同定できる個人情報は削除します。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も患者さんを特定できる個人情報は利用しません。

* 上記の研究にカルテ情報を利用することをご了解いただけない場合は、以下にご連絡
ください。

[問い合わせ先]

東京都新宿区河田町 8-1

東京女子医科大学病院第二外科科 担当医師 板橋道朗

電話 03-3353-8111 FAX 03-5269-7334

平成 26 年 4 月 1 日

腎臓内科に通院中（または過去に通院・入院されたことのある）の
患者さんまたはご家族の方へ

-臨床研究に関する情報および臨床研究に対するご協力のお願い-

当院では、以下の臨床研究を実施しております。この研究は、通常の診療で得られた過去の記録をまとめることによって行います。この研究に関するお問い合わせなどがありましたら、以下の「問い合わせ先」へご照会ください。

【研究課題名】 慢性腎不全患者の透析導入期における骨ミネラル代謝異常と心血管イベント発症に関する検討

【研究機関】 東京女子医科大学病院循環器内科

【研究責任者】 循環器内科 主任教授 萩原誠久

【研究分担者】 腎臓内科 主任教授 新田孝作

【研究の目的】

透析を導入した慢性腎不全患者における骨代謝異常評価のための血液検査と心血管疾患発症との関連性を検討すること。

【研究の方法】

●対象となる患者さん

慢性腎不全の患者さんで、平成 17 年 1 月 1 日から平成 22 年 12 月 31 日の間に透析導入を受けた方

●利用するカルテ情報

診断名、年齢、性別、身体所見、検査結果（血液検査、画像検査、超音波検査、心電図検査）

【個人情報の取り扱い】

利用する情報からは、お名前、住所など、患者さんを直接同定できる個人情報は削除します。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も患者さんを特定できる個人情報は利用しません。

* 上記の研究にカルテ情報を利用することをご了解いただけない場合は、以下にご連絡ください。

【問い合わせ先】

東京都新宿区河田町 8-1

東京女子医科大学病院循環器内科 担当医師 鈴木敦

電話 03-3353-8111 FAX 03-3356-0441

平成 26 年 4 月 24 日

消化器外科に通院中の患者さんへ（臨床研究に関する情報）

当院では、以下の臨床研究を実施しております。この研究は、通常の診療で得られた過去の記録をまとめることによって行います。この研究に関するお問い合わせなどがありましたら、以下の「問い合わせ先」へご照会ください。

[研究課題名] 肝細胞癌における Gd-EOB 造影 MRI 肝細胞造影相と長期切除成績についての研究

[研究機関] 東京女子医科大学病院消化器外科

[研究責任者] 山本雅一 東京女子医科大学消化器外科 主任教授

[研究の目的] 肝細胞癌における Gd-EOB 造影 MRI 肝細胞造影相における信号所見と長期切除成績についての研究

[研究の方法]

●対象となる患者さん

肝細胞癌（疾患名）の患者さんで、平成 25 年 12 月 31 日までに肝切除による治療を受けた方

●利用するカルテ情報

- ① 臨床情報。年齢、性別、肝炎ウイルス（HBV, HCV）など肝疾患の有無、肝機能検査（Child-Pugh 分類、ICG 値、ビリルビン値）、腫瘍マーカー（AFP、PIVKAII）など
- ② 画像情報。Gd-EOB 造影 MRI の肝細胞造影相で低信号か高信号か。その他に腫瘍径、個数、脈管侵襲などについて。
- ③ 手術情報。手術日、術式、根治度
- ④ 手術合併症、死亡率。
- ⑤ 病理所見。肝細胞癌の診断。腫瘍径、腫瘍数、肝内転移、肉眼または顕微鏡的脈管侵襲、分化度、ステージ、免疫染色所見、非癌肝組織。
- ⑥ 再発の有無。再発がある場合は手術日から再発確認日までの期間。
- ⑦ 生死。死亡の場合は手術日から死亡日までの期間。生存の場合は最終生存確認日。

[個人情報の取り扱い]

利用する情報からは、お名前、住所など、患者さんを直接同定できる個人情報は削除します。

また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も患者さんを特定できる個人情報は利用しません。

*上記の研究にカルテ情報を利用することをご了解いただけない場合は、以下にご連絡ください。

[問い合わせ先]

東京都新宿区河田町 8-1

東京女子医科大学病院消化器外科 担当医師 有泉俊一

電話 03-3353-8111 FAX 03-5269-7507

平成 26 年 4 月 25 日

消化器内科に通院中（または過去に通院・入院されたことのある）の
患者さんまたはご家族の方へ

ー臨床研究に関する情報および臨床研究に対するご協力をお願いー

当院では、以下の臨床研究を実施しております。この研究は、通常の診療で得られた過去の記録をまとめることによって行います。この研究に関するお問い合わせなどがありましたら、以下の「問い合わせ先」へご照会ください。

【研究課題名】 「肝細胞癌におけるバルーン閉塞下肝動脈化学塞栓術の検討」

【研究機関】 東京女子医科大学病院消化器内科

【研究責任者】 立元 敬子 東京女子医科大学 消化器内科 主任教授

【研究の目的】

肝細胞癌の栄養動脈をバルーン閉塞下に行った肝動脈化学塞栓術の有用性を調査するため

【研究の方法】

●対象となる患者さん

肝細胞癌の患者さんで、平成 22 年 1 月 1 日から平成 26 年 3 月 31 日の間にバルーン閉塞下肝動脈化学塞栓術を受けた方

●利用するカルテ情報

①年齢 ②性別 ③臨床診断名 ④合併症 ⑤慢性肝疾患の合併症（肝炎ウイルス関連抗原抗体測定結果 ⑥肝細胞癌に対する治療歴（治療の種類、治療時期、治療部位、術式あるいは使用薬剤、治療効果 ⑦バルーン閉塞下肝動脈化学塞栓術に使用した薬剤と投与量、投与部位 ⑧術前と術後の画像診断（血管造影、造影 CT）⑨術前術後の臨床検査 血液学的検査、血液生化学的検査、腫瘍マーカー AFP、PIVKA-II ⑩有害事象の有無 ⑪予後追跡調査 転帰（生死・死因）、転帰確認日、治療経過

【個人情報の取り扱い】

利用する情報からは、お名前、住所など、患者さんを直接同定できる個人情報は削除します。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も患者さんを特定できる個人情報は利用しません。

*上記の研究にカルテ情報を利用することをご了解いただけない場合は、以下にご連絡ください。

[問い合わせ先]

東京都新宿区河田町 8-1

東京女子医科大学病院消化器内科 担当医師 鳥居信之

電話 03-3353-8111 FAX 03-5269-7435

平成 26 年 4 月 1 日

第二外科に通院中（または過去に通院・入院されたことのある）の 患者さんまたはご家族の方へ

-臨床研究に関する情報および臨床研究に対するご協力のお願い-

当院では、以下の臨床研究を実施しております。この研究は、通常の診療で得られた過去の記録をまとめることによって行います。この研究に関するお問い合わせなどがありましたら、以下の「問い合わせ先」へご照会ください。

【研究課題名】 乳癌 PET/CT 検査における SUV 値と臨床病理学的因子との関連の検討

【研究機関】 東京女子医科大学病院第二外科

【研究責任者】 亀岡 信悟 東京女子医科大学 第二外科 教授

【研究の目的】 乳癌 PET 検査の有用性を検討するため

【研究の方法】

●対象となる患者さん

乳癌の患者さんで、平成 20 年 4 月 1 日から平成 23 年 3 月 31 日の間に PET 検査を受けた方

●利用するカルテ情報

年齢・性別・身長・体重・閉経状況・診断名・術式・術前腫瘍マーカー値

FDG-PET/CT の結果(集積状況・SUV 値)

病理結果(組織型・腫瘍径・脈管侵襲・核グレード・Ki67 陽性細胞割合・エストロゲンレセプター・プロゲステロンレセプター・ハーセプチン・リンパ節転移状況)

経過情報(初診日・FDG-PET/CT 施行日・手術日・初再発日・最終生存確認日・死亡日・死因)

【個人情報の取り扱い】

利用する情報からは、お名前、住所など、患者さんを直接同定できる個人情報は削除します。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も患者さんを特定できる個人情報は利用しません。

*上記の研究にカルテ情報を利用することをご了解いただけない場合は、以下にご連絡ください。

【問い合わせ先】

東京都新宿区河田町 8-1

東京女子医科大学病院第二外科 担当医師 大地 哲也

電話 03-3353-8111 内線 39251 FAX 03-5269-7334

平成 26 年 5 月 16 日

神経内科に過去に入院されたことのある
患者さんまたはご家族の方へ

-臨床研究に関する情報および臨床研究に対するご協力のお願い-

当院では、以下の臨床研究を実施しております。この研究は、通常の診療で得られた過去の記録をまとめることによって行います。この研究に関するお問い合わせなどがありましたら、以下の「問い合わせ先」へご照会ください。

【研究課題名】 塞栓源不明の脳梗塞 (Embolic Strokes of Undetermined Source: ESUS) に関する登録研究 -ESUS Global Registry Project-

【研究機関】 東京女子医科大学病院神経内科

【研究責任者】 北川一夫、神経内科、主任教授

【研究の目的】

脳梗塞で入院された患者のうち、原因不明の症例がどの程度存在するかを明らかにするため

【研究の方法】

●対象となる患者さん

平成 25 年 1 月 1 日から平成 26 年 3 月 31 日の間に脳梗塞を発症し当科で入院治療（検査）を受けた方

●利用するカルテ情報

診断名、年齢、性別、身体所見、神経学的所見、検査結果（血液検査、脳 CT 検査、脳 MR I 検査、頸動脈超音波検査、経胸壁心エコー検査、経食道心エコー検査、経頭蓋超音波ドプラ血流検査、心電図検査、ホルター心電図検査）

【個人情報の取り扱い】

利用する情報からは、お名前、住所など、患者さんを直接同定できる個人情報は削除します。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も患者さんを特定できる個人情報は利用しません。

* 上記の研究にカルテ情報を利用することをご了解いただけない場合は、以下にご連絡ください。

【問い合わせ先】

東京都新宿区河田町 8-1

東京女子医科大学病院神経内科 担当医師 水野聡子

電話 03-3353-8112 FAX 03-3341-0613

平成 26 年 5 月 16 日

血液内科に通院中（または過去に通院・入院されたことのある）の 患者さんまたはご家族の方へ

ー臨床研究に関する情報および臨床研究に対するご協力のお願いー

当院では、以下の臨床研究を実施しております。この研究は、通常の診療で得られた過去の記録をまとめることによって行います。この研究に関するお問い合わせなどがありましたら、以下の「問い合わせ先」へご照会ください。

【研究課題名】 非全身放射線照射前処置が成人急性リンパ性白血病に対する同種移植の治療成績に及ぼす影響に関する研究

【研究機関】 東京女子医科大学病院血液内科

【研究責任者】 血液内科 主任教授 田中 淳司

【研究の目的】 急性リンパ性白血病に対する非全身放射前処置の有用性を検討するため

【研究の方法】

●対象となる患者さん

成人急性リンパ性白血病の患者さんで、2006 年 1 月 1 日から 2013 年 12 月 31 日の間に同種造血幹細胞移植を受けた方

●利用するカルテ情報

診断名、年齢、性別、身体所見、検査結果（血液検査、画像検査、心電図検査）、移植関連情報（移植日、移植種類、幹細胞源、前処置、移植片対宿主病予防法、急性移植片対宿主病の有無、慢性移植片対宿主病の有無、最終観察日、転帰、再発の有無など）

【個人情報の取り扱い】

利用する情報からは、お名前、住所など、患者さんを直接同定できる個人情報は削除します。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も患者さんを特定できる個人情報は利用しません。

*上記の研究にカルテ情報を利用することをご了解いただけない場合は、以下にご連絡ください。

【問い合わせ先】

東京都新宿区河田町 8-1

東京女子医科大学病院 血液内科

担当医師 三橋 健次郎

電話 03-3353-8111

平成 26 年 4 月 10 日

循環器小児科に通院中（または過去に通院・入院されたことのある）の
患者さんまたはご家族の方へ

ー臨床研究に関する情報および臨床研究に対するご協力のお願いー

当院では、以下の臨床研究を実施しております。この研究は、通常の診療で得られた過去の記録をまとめることによって行います。この研究に関するお問い合わせなどがありましたら、以下の「問い合わせ先」へご照会ください。

〔研究課題名〕 多脾症と無脾症における胸腹部内臓錯位パターンの比較検討

〔研究機関〕 東京女子医科大学病院 画像診断・核医学科

〔研究責任者〕 坂井 修二 東京女子医科大学病院 画像診断・核医学科 主任教授

〔研究の目的〕

多脾症、無脾症における内臓錯位パターンを比較検討するため。

〔研究の方法〕

●対象となる患者さん

東京女子医科大学病院循環器小児科に通院・入院した多脾症、無脾症の患者さんで、平成 16 年 5 月 1 日から平成 25 年 11 月 30 日の間に CT 検査を受けた方

●利用するカルテ情報

診断名、年齢、性別、身体所見、既往歴、検査結果（画像検査所見）、治療内容

〔個人情報の取り扱い〕

利用する情報からは、お名前、住所など、患者さんを直接同定できる個人情報は削除します。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も患者さんを特定できる個人情報は利用しません。

*上記の研究にカルテ情報を利用することをご了解いただけない場合は、以下にご連絡ください。

〔問い合わせ先〕

東京都新宿区河田町 8-1

東京女子医科大学病院画像診断・核医学科 担当医師 米山 寛子

電話 03-3353-8111（内線 39966） FAX 03-5269-9247

平成26年4月21日

小児科に通院中（または過去に通院・入院されたことのある）の
患者さんまたはご家族の方へ

ー臨床研究に関する情報および臨床研究に対するご協力のお願いー

当院では、以下の臨床研究を実施しております。この研究は、臨床研究用に保管された検体を用いて行います。この研究に関するお問い合わせなどがありましたら、以下の「問い合わせ先」へご照会ください。

【研究課題名】 無菌性髄膜炎の地域流行における原因ウイルスの検討-2013年

【研究機関】 東京女子医科大学東医療センター小児科

【研究責任者】 東京女子医科大学東医療センター 小児科教授 杉原茂孝

【研究の目的】 地域流行の原因ウイルスを解明するため

【研究の方法】

●対象となる患者さん

無菌性髄膜炎の患者さんで、平成25年6月1日から平成25年9月30日の間に原因検索のための脳脊髄液の採取に同意された方

●利用する検体およびカルテ情報

検体：脳脊髄液（以前に検査用の採取に同意いただいた分）

カルテ情報：診断名、年齢、性別、居住地域、集団生活の有無、家族歴、既往歴、生活歴、身体所見、検査結果（血液検査、髄液一般検査、頭部CT検査、脳波検査、聴力検査）

【個人情報の取り扱い】

利用する情報からは、お名前、住所など、患者さんを直接同定できる個人情報は削除します。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も患者さんを特定できる個人情報は利用しません。

*上記の研究に検体およびカルテ情報を利用することをご了解いただけない場合は、以下にご連絡ください。

【問い合わせ先】

東京都荒川区西尾久2-1-10

東京女子医科大学東医療センター小児科

担当医師 志田洋子、鈴木葉子

電話 03-3810-1111 FAX 03-3810-1327

東京女子医科大学リウマチ科・附属膠原病リウマチ痛風センターに通院中（または
過去に通院・入院されたことのある）の
患者さんまたはご家族の方へ

ー臨床研究に関する情報および臨床研究に対するご協力のお願いー

当院では、以下の臨床研究を実施しております。この研究は、研究用に保管された検体を用いて行います。この研究に関するお問い合わせなどがありましたら、以下の「問い合わせ先」へご照会ください。

【研究課題名】 新規筋炎特異抗体：抗チロシル tRNA 合成酵素抗体の臨床的・病因的意義

【研究機関】 東京女子医科大学附属膠原病リウマチ痛風センター

【研究責任者】 東京女子医科大学附属膠原病リウマチ痛風センター・教授・山中寿

【研究の目的】

多発性筋炎/皮膚筋炎における抗チロシル tRNA 合成酵素抗体の臨床的・病因的意義を確立するため

【研究の方法】

●対象となる患者さん

多発性筋炎/皮膚筋炎およびその他の膠原病（関節リウマチ、全身性エリテマトーデス、全身性強皮症、混合性結合組織病、シェーグレン症候群、血管炎症候群）の患者さんで、平成16年4月1日から平成26年3月16日の間に膠原病の研究用の血液・組織（筋生検・皮膚生検検体）の保管に同意された方

●利用する検体およびカルテ情報

検体：血液・組織（筋生検・皮膚生検検体）（以前に研究用としての保管に同意いただいた分）
カルテ情報：年齢、性別、身長、体重、罹病期間、疾患名、手術名、診察所見、治療内容、検査結果（血液検査、尿検査、画像検査、心電図検査、肺機能検査、筋生検・皮膚生検病理検査）

【個人情報の取り扱い】

利用する情報からは、お名前、住所など、患者さんを直接同定できる個人情報は削除します。
また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も患者さんを特定できる個人情報は利用しません。

* 上記の研究に検体およびカルテ情報を利用することをご了解いただけない場合は、以下にご連絡ください。

【問い合わせ先】

東京都新宿区河田町10-22

東京女子医科大学附属膠原病リウマチ痛風センター

担当医師 勝又 康弘

電話 03-5269-1711 FAX 03-5269-1727

東京女子医科大学リウマチ科・附属膠原病リウマチ痛風センターに通院中（または
過去に通院・入院されたことのある）の
患者さんまたはご家族の方へ

ー臨床研究に関する情報および臨床研究に対するご協力のお願いー

当院では、以下の臨床研究を実施しております。この研究は、研究用に保管された検体を用いて行います。この研究に関するお問い合わせなどがありましたら、以下の「問い合わせ先」へご照会ください。

〔研究課題名〕 全身性エリテマトーデス（SLE）患者における抗 PLA2R 抗体の検討

〔研究機関〕 東京女子医科大学附属膠原病リウマチ痛風センター

〔研究責任者〕 東京女子医科大学附属膠原病リウマチ痛風センター・教授・山中寿

〔研究の目的〕

SLE における抗ホスホリパーゼ A2 受容体（PLA2R）抗体の臨床的・病因的意義を確立するため

〔研究の方法〕

●対象となる患者さん

SLE およびその他の膠原病（関節リウマチ、多発性筋炎/皮膚筋炎、全身性強皮症、混合性結合組織病、シェーグレン症候群、血管炎症候群）の患者さんで、平成16年4月1日から平成26年3月16日の間に膠原病の研究用の血液・尿・組織（腎生検検体）の保管に同意された方

●利用する検体およびカルテ情報

検体：血液・尿・組織（腎生検検体）（以前に研究用としての保管に同意いただいた分）

カルテ情報：年齢、性別、身長、体重、罹病期間、疾患名、手術名、診察所見、治療内容、検査結果（血液検査、尿検査、画像検査、心電図検査、腎生検病理検査）

〔個人情報の取り扱い〕

利用する情報からは、お名前、住所など、患者さんを直接同定できる個人情報は削除します。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も患者さんを特定できる個人情報は利用しません。

*上記の研究に検体およびカルテ情報を利用することをご了解いただけない場合は、以下にご連絡ください。

〔問い合わせ先〕

東京都新宿区河田町10-22

東京女子医科大学附属膠原病リウマチ痛風センター

担当医師 勝又 康弘

電話 03-5269-1711 FAX 03-5269-1727

平成 26 年 5 月 21 日

リウマチ科に通院中（または過去に通院・入院されたことのある）の
患者さんまたはご家族の方へ

-臨床研究に関する情報および臨床研究に対するご協力のお願い-

当院では、以下の臨床研究を実施しております。この研究は、残余検体として保管された検体を用いて行います。この研究に関するお問い合わせなどがありましたら、以下の「問い合わせ先」へご照会ください。

[研究課題名] 全身性エリテマトーデスに併発する蛋白漏出性胃腸症の病態機序の解明

[研究機関] 東京女子医科大学附属膠原病リウマチ痛風センター 膠原病リウマチ内科

[研究責任者] 膠原病リウマチ痛風センター 膠原病リウマチ内科 教授 山中寿

[研究の目的]

全身性エリテマトーデスに併発する蛋白漏出性胃腸症の病態を明らかにする

[研究の方法]

●対象となる患者さん

全身性エリテマトーデスの患者さんで、平成 16 年 5 月 1 日から平成 25 年 12 月 31 日の間にリウマチ・膠原病の研究用の血液および胃組織の保管に同意された方

●利用する検体およびカルテ情報

検体：血液、胃組織（以前に保管に同意いただいた分）

カルテ情報：診断名、年齢、性別、身体所見、検査結果（血液検査、画像検査、内視鏡検査）など

[個人情報の取り扱い]

利用する情報からは、お名前、住所など、患者さんを直接同定できる個人情報は削除します。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も患者さんを特定できる個人情報は利用しません。

* 上記の研究に検体およびカルテ情報を利用することをご了解いただけない場合は、以下にご連絡ください。

[問い合わせ先]

東京都新宿区河田町 10-22

東京女子医科大学附属膠原病リウマチ痛風センター 膠原病リウマチ内科

担当医師 五野貴久

電話 03-5269-1725 FAX03-5269-1726

平成 26 年 5 月 21 日

リウマチ科に通院中（または過去に通院・入院されたことのある）の
患者さんまたはご家族の方へ

-臨床研究に関する情報および臨床研究に対するご協力のお願ひ-

当院では、以下の臨床研究を実施しております。この研究は、通常の検査で採取した際に残った保管検体を用いて行います。この研究に関するお問い合わせなどがありましたら、以下の「問い合わせ先」へご照会ください。

[研究課題名] 全身性エリテマトーデスに併発する神経障害の病態機序の解明

[研究機関] 東京女子医科大学附属膠原病リウマチ痛風センター 膠原病リウマチ内科

[研究責任者] 膠原病リウマチ痛風センター 膠原病リウマチ内科 教授 山中寿

[研究の目的]

全身性エリテマトーデスに併発する神経障害の病態を明らかにする

[研究の方法]

●対象となる患者さん

全身性エリテマトーデスの患者さんで、平成 16 年 5 月 1 日から平成 26 年 2 月 28 日の間にリウマチ・膠原病の研究用の血液の保管に同意された方

●利用する検体およびカルテ情報

検体：血液、髄液

カルテ情報：診断名、年齢、性別、身体所見、検査結果（血液検査、髄液検査、画像検査、脳波）など

[個人情報の取り扱い]

利用する情報からは、お名前、住所など、患者さんを直接同定できる個人情報は削除します。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も患者さんを特定できる個人情報は利用しません。

* 上記の研究に検体およびカルテ情報を利用することをご了解いただけない場合は、以下にご連絡ください。

[問い合わせ先]

東京都新宿区河田町 10-22

東京女子医科大学附属膠原病リウマチ痛風センター 膠原病リウマチ内科

担当医師 五野貴久

電話 03-5269-1725 FAX03-5269-1726

平成26年5月19日

第2外科に通院中（または過去に通院・入院されたことのある）の
患者さんまたはご家族の方へ

ー臨床研究に関する情報および臨床研究に対するご協力をお願いー

当院では、以下の臨床研究を実施しております。この研究は、通常の診療で得られた過去の記録をまとめることによって行います。この研究に関するお問い合わせなどがありましたら、以下の「問い合わせ先」へご照会ください。

〔研究課題名〕 大腸癌肝転移における熱凝固療法施行症例の検討

〔研究機関〕 東京女子医科大学病院第2外科

〔研究責任者〕 第2外科 主任教授 亀岡 信悟

〔研究の目的〕

大腸癌肝転移における熱凝固療法による治療成績向上のため。

〔研究の方法〕

●対象となる患者さん

大腸癌肝転移の患者さんで、平成11年1月1日から平成25年12月31日の間にラジオ波またはマイクロ波凝固療法の治療を受けた方

●利用するカルテ情報

年齢、性別、熱凝固療法施行回数・経路・方法、大腸癌手術時の病理結果（組織型、壁進達度、リンパ節転移度、脈管侵襲、リンパ管侵襲）、CT画像所見（肝転移の大きさ、個数、腫瘍脈管との位置関係、遠隔転移、局所再発の有無）、術前・術後合併症、血液データ、外来受診歴、入院歴、予後

〔個人情報の取り扱い〕

利用する情報からは、お名前、住所など、患者さんを直接同定できる個人情報は削除します。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も患者さんを特定できる個人情報は利用しません。

＊上記の研究にカルテ情報を利用することをご了解いただけない場合は、以下にご連絡ください。

〔問い合わせ先〕

東京都新宿区河田町 8-1

東京女子医科大学病院第2外科

担当医師 天野 久仁彦

電話 03-3353-8111（内線 39251）

FAX 03-5269-7334

平成 26 年 6 月 3 日

東京女子医科大学に通院中（または過去に通院・入院されたことのある）の

患者様またはご家族の皆様へ

動脈硬化病変研究に関する後ろ向き調査

(過去の診療記録・病理検体に関する調査) ご協力をお願い

当院では、以下の研究を実施しております。この研究に関するお問い合わせなどがありましたら、以下の「問い合わせ先」へご照会ください。

【研究課題名】 分光技術による動脈硬化病変研究

【研究機関・研究責任者・研究担当者】

研究機関	東京大学大学院医学系研究科	循環器内科学
研究責任者	教授	小室一成
研究担当者	講師	真鍋一郎
研究担当者	特任助教	藤生克仁
研究機関	東京女子医科大学	第二病理学
研究担当者	助教	宇都健太

【研究の目的】

急性心筋梗塞とは心臓の表面に存在する冠動脈という血管が急激に閉塞し、心臓が壊死することにより、突然死や心不全死を生じさせる疾患です。冠動脈の急激な閉塞の原因は動脈硬化ですが、現在、急激な閉塞が生じそうな動脈硬化を来した血管を未然に検出することができません。

我々は、動物実験において、分光技術という新しい画像技術を用いて、急激な閉塞が生じそうな病変を検出することに成功しており、患者様でも有用であろうと考えています。

今回、この画像技術をご存命の患者様で使用する前に、病理解剖をお受けになる方の冠動脈や大動脈などの動脈硬化を生じる部位を特殊なカメラで撮影させていただくことで、この新しい技術のヒトへの応用の可能性を検討し、今後、心筋梗塞・突然死を予防する医学の発展に役立てたいと考えています。

【研究の方法】

通常の病理解剖の過程で、冠動脈や大動脈を観察しますが、その際に冠動脈、大動脈などの動脈硬化を生じる部位の内腔を、分光技術を搭載したカメラで撮影します。また、撮影した部位をその後、顕微鏡で詳細に観察するために、組織をわずかに（数ミリ角の大き

さ)採取します。

また、今回の研究目的の撮影・組織の採取が通常的病理解剖に問題がないように、担当病理医師と十分に相談しながら行います。

万一、カメラでの撮影・組織の採取が本来の病理解剖に支障をきたす可能性がある場合には、この研究は中止いたします。

なお、本研究に使用するカメラはオリンパス株式会社から東京大学大学院医学系研究科循環器内科学が貸与を受け、東京女子医科大学にて使用します。

【個人情報の取り扱い】

この研究に関わる成果は、他の関係する方々に漏えいすることのないよう、慎重に取り扱う必要があります。あなたの人体試料や情報・データは、分析する前にあなたの個人情報とは一切連結できないようにした上で、主任研究施設である研究室（東京大学大学院医学系研究科 循環器内科学 307 研）において厳重に保管します。そのため、個人情報を切り離れた後のデータについては、同意を取り消すこと、および、個人の結果をあなたにお伝えすることはできません。また、あなたからいただいた資料（試料）等は、この研究のためにのみ使用します。研究終了後、あなたからいただいた資料（試料）等は、適切な方法で破棄します。また、解析した結果をまとめたデータの一部を株式会社オリンパスが将来的に使用する可能性があります。

【研究結果の公表】

研究の成果は、あなたの氏名など個人情報が明らかにならないようにした上で、学会発表や学術雑誌及びデータベース等で公表します。結果については、個人情報をデータから切り離して解析を行う為、個人的にお問い合わせがあった場合にも、お伝えすることができません。

【問い合わせ先】

東京都新宿区河田町 8-1

東京女子医科大学第二病理学 担当医師 宇都健太

電話 03-3485-7771 FAX 03-5269-

平成 26 年 4 月 22 日

形成外科に通院中（または過去に通院・入院されたことのある）の
患者さんまたはご家族の方へ

ー臨床研究に関する情報および臨床研究に対するご協力のお願いー

当院では、以下の臨床研究を実施しております。この研究は、通常の診療で得られた過去の記録をまとめることによって行います。この研究に関するお問い合わせなどがありましたら、以下の「問い合わせ先」へご照会ください。

[研究課題名]

遊離皮弁移植術による乳房再建術における皮弁内灌流静脈血分析に関する検討

[研究機関] 東京女子医科大学病院形成外科

[研究責任者] 東京女子医科大学 形成外科学教室 主任教授 櫻井裕之

[研究の目的]

自家組織移植による乳房再建術における部分壊死の原因究明と、その解決法を確立する。

[研究の方法]

●対象となる患者さん

乳癌の患者さんで平成 20 年 1 月から平成 26 年 5 月までの間、下腹部からの遊離皮弁移植により乳房再建を行う患者さん

●利用するカルテ情報

①年齢

②再建術式 (free TRAM flap/free DIEP flap/free SIEA flap)

③吻合血管 (移植床血管と移植皮弁の血管茎)

④血管茎対側への血管付加吻合の有無 (動脈付加吻合/静脈付加吻合/動静脈付加吻合)

⑤静脈カテーテル挿入側 (血管茎側/血管茎反対側)

⑥動脈血ガス分析 (pH, PO₂, PCO₂, SO₂, BE, Hb, Ht, Lactate, Glu)

⑦灌流静脈血ガス分析 (pH, PO₂, PCO₂, SO₂, BE, Hb, Ht, Lactate, Glu)

⑧下腹部皮弁の採取組織量、移植組織量、使用率 (100×移植組織量/採取組織量、%)

[個人情報の取り扱い]

利用する情報からは、お名前、住所など、患者さんを直接同定できる個人情報は削除します。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も患者さんを特定できる個人情報は利用しません。

*上記の研究にカルテ情報を利用することをご了解いただけない場合は、以下にご連絡
ください。

【問い合わせ先】

東京都新宿区河田町 8-1

東京女子医科大学病院形成外科 担当医師 櫻井裕之

電話 03-3353-8111 FAX 03-5269-4780

平成26年6月3日

神経精神科に通院中（または過去に通院・入院されたことのある）の
患者さんまたはご家族の方へ

ー臨床研究に関する情報および臨床研究に対するご協力をお願いー

当院では、以下の臨床研究を実施しております。この研究は、研究用に保管された検体を用いて行います。この研究に関するお問い合わせなどがありましたら、以下の「問い合わせ先」へご照会ください。

[研究課題名] うつ状態に対する aripiprazole による増強療法における有効性
予測因子の検討

[研究機関] 東京女子医科大学病院神経精神科

[研究責任者] 坂元 薫 神経精神科 教授

[研究の目的] 薬物治療の有効性予測因子を同定するため

[研究の方法]

●対象となる患者さん

うつ状態の患者さんで、平成18年6月1日から平成26年3月31日の間にエビリフ
アイによる増強療法が行われた方

●利用する検体およびカルテ情報

検体：利用しません

カルテ情報：診断名、年齢、性別、血液検査結果、既往歴、家族歴、生活歴、現病歴、
治療経過

[個人情報の取り扱い]

利用する情報からは、お名前、住所など、患者さんを直接同定できる個人情報は削除し
ます。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も患者さんを特定で
きる個人情報は利用しません。

*上記の研究に検体およびカルテ情報を利用することをご了解いただけない場合は、以
下にご連絡ください。

[問い合わせ先]

東京都新宿区河田町 8-1

東京女子医科大学病院神経精神科 担当医師 菅原 裕子

電話 03-3353-8111 FAX 03-3351-8979

平成 26 年 5 月 2 日

泌尿器科に通院中の患者さんへ（臨床研究に関する情報）

当院では、以下の臨床研究を実施しております。この研究は、通常の診療で得られた過去の記録をまとめることによって行います。この研究に関するお問い合わせなどがありましたら、以下の「問い合わせ先」へご照会ください。

【研究課題名】

「腎移植後免疫抑制状態での固形腎癌、嚢胞腎癌の生存率、再発に関する検討」

【研究機関】 東京女子医科大学病院泌尿器科

【研究責任者】 准教授 近藤 恒徳

【研究の目的】

固形腎癌の免疫抑制剤使用下での進行、再発について検討する。

【研究の方法】

●対象となる患者さん

腎腫瘍の患者さんで、平成 12 年 1 月 1 日から平成 25 年 12 月 31 日の間に慢性腎不全にて透析中、または腎移植術を受け免疫抑制剤を使用中の、根治的腎摘出術を受けられた患者さん

●利用するカルテ情報

- ①年齢、性別、身体所見、理学所見、血液検査結果、画像診断結果（CT、MRI、シンチグラフィ）
- ②手術所見、手術成績（手術時間、出血量、合併症、退院日）、病理検査結果

【個人情報の取り扱い】

利用する情報からは、お名前、住所など、患者さんを直接同定できる個人情報は削除します。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も患者さんを特定できる個人情報は利用しません。

*上記の研究にカルテ情報を利用することをご了解いただけない場合は、以下にご連絡ください。

【問い合わせ先】

東京都新宿区河田町 8-1

東京女子医科大学病院泌尿器科 担当医師 兩坂 誠

電話 03-3353-8111 FAX 03-3356-0293

平成 26 年 5 月 1 日

循環器内科に入院されたことのある患者さんまたはご家族の方へ
-臨床研究に関する情報および臨床研究に対するご協力をお願い-

当院では、以下の臨床研究を実施しております。この研究は、通常の診療で得られた過去の記録をまとめることによって行います。この研究に関するお問い合わせなどがありましたら、以下の「問い合わせ先」へご照会ください。

[研究課題名] 心不全におけるトルバプタンの利尿効果予測因子としての血中尿素窒素・クレアチニン比の有効性

[研究機関] 東京女子医科大学病院循環器内科

[研究責任者] 循環器内科 主任教授 萩原 誠久

[研究の目的]

心不全に対しトルバプタンが処方された患者の有効性の有無を、血中尿素窒素・クレアチニン比により予測できるかどうかを評価する。

[研究の方法]

●対象となる患者さん

2010 年 12 月 1 日から 2014 年 4 月 30 日までに東京女子医科大学病院循環器内科に入院した心不全患者さんのうち、トルバプタンの処方がおこなわれた患者さん

●利用するカルテ情報

年齢、性別、身体所見、基礎心疾患、既往歴（高血圧、糖尿病、冠動脈疾患、左室機能不全の有無）、デバイスの有無（植え込み型心臓ペースメーカー、植え込み型除細動器、心臓再同期療法）、内服および静脈注射薬の使用状況、検査結果（血液検査、画像検査、超音波検査、心臓カテーテル検査）

【個人情報の取り扱い】

利用する情報からは、お名前、住所など、患者さんを直接同定できる個人情報は削除します。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も患者さんを特定できる個人情報は利用しません。

* 上記の研究にカルテ情報を利用することをご了解いただけない場合は、以下にご連絡ください。

[問い合わせ先]

東京都新宿区河田町 8-1

東京女子医科大学病院 循環器内科 担当 岡山 大

電話 03-3353-8111 FAX 03-3356-0441

平成 26 年 6 月 9 日

循環器内科に通院中の患者さんへ（臨床研究に関する情報）

当院では、以下の臨床研究を実施しております。この研究は、通常の診療で得られた過去の記録をまとめることによって行います。この研究に関するお問い合わせなどがありましたら、以下の「問い合わせ先」へご照会ください。

[研究課題名] 両室ペーシングによる心不全患者の治療効果と予後に関する観察研究

[研究機関] 東京女子医科大学病院循環器内科

[研究責任者] 循環器内科 主任教授 萩原誠久

[研究の目的]

両室ペーシング治療による心機能改善効果および予後予測因子を検討するため

[研究の方法]

●対象となる患者さん

昭和 62 年 1 月 1 日から平成 25 年 12 月 31 日の間に、両室ペーシング治療を行った患者さん

●利用するカルテ情報

診断名、年齢、性別、身体所見、検査結果（血液検査、画像検査、超音波検査、心電図検査）

[個人情報の取り扱い]

利用する情報からは、お名前、住所など、患者さんを直接同定できる個人情報は削除します。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も患者さんを特定できる個人情報は利用しません。

* 上記の研究にカルテ情報を利用することをご了解いただけない場合は、以下にご連絡ください。

[問い合わせ先]

東京都新宿区河田町 8-1

東京女子医科大学病院循環器内科 担当医師 鈴木敦

電話 03-3353-8111 FAX 03-3356-0441

平成 26 年 5 月 23 日

第二外科に通院中（または過去に通院・入院されたことのある）の 患者さんまたはご家族の方へ

ー臨床研究に関する情報および臨床研究に対するご協力をお願いー

当院では、以下の臨床研究を実施しております。この研究は、研究用に保管された検体を用いて行います。この研究に関するお問い合わせなどがありましたら、以下の「問い合わせ先」へご照会ください。

【研究課題名】 腫瘍非形成性乳癌における上皮間葉移行(EMT)に関する検討

【研究機関】 東京女子医科大学病院第二外科

【研究責任者】 東京女子医大第二外科主任教授 亀岡信悟

【研究の目的】

しこりをつくらないタイプの乳癌において、浸潤せず発育が遅いタイプの癌なのか、早期に進行するタイプの癌なのかを術前に診断するための方法を開発する。

【研究の方法】

●対象となる患者さん

原発性乳癌の患者さんで、平成 22 年 1 月 1 日から平成 25 年 12 月 31 日の間にステレオガイド下マンモトーム生検を受け、当科で手術を行った方

●利用する検体およびカルテ情報

検体：手術で摘出した乳腺組織

カルテ情報：診断名、年齢、検査結果（血液検査、画像検査、病理結果）

【個人情報の取り扱い】

利用する情報からは、お名前、住所など、患者さんを直接同定できる個人情報は削除します。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も患者さんを特定できる個人情報は利用しません。

* 上記の研究に検体およびカルテ情報を利用することをご了解いただけない場合は、以下にご連絡ください。

【問い合わせ先】

東京都新宿区河田町 8-1

東京女子医科大学病院第二外科 担当医師 三浦弘子

電話 03-3353-8111 FAX 03-5269-7334

平成 26 年 5 月 17 日

消化器外科に通院中の患者さんへ（臨床研究に関する情報）

当院では、以下の臨床研究を実施しております。この研究は、通常の診療で得られた過去の記録をまとめることによって行います。この研究に関するお問い合わせなどがありましたら、以下の「問い合わせ先」へご照会ください。

〔研究課題名〕 肉眼的胆管内腫瘍栓を伴う肝細胞癌の切除成績、術式について調査研究

〔研究機関〕 東京女子医科大学病院消化器外科

〔研究責任者〕 山本雅一 東京女子医科大学消化器外科 主任教授

〔研究の目的〕 肉眼的胆管内腫瘍栓（B3 または B4）を伴う肝細胞癌の切除成績を明らかにするため

〔研究の方法〕

●対象となる患者さん

肉眼的胆管内腫瘍栓を伴う肝細胞癌（疾患名）の患者さんで、平成 25 年 12 月 31 日までに肝切除による治療を受けた方

●利用するカルテ情報

- ① 手術前情報。年齢、性別、肝炎ウイルス（HBV、HCV）など肝疾患、黄疸の有無、肝機能検査（Child-Pugh 分類、ICG 値、ビリルビン値）、胆管出血の有無、腫瘍マーカー（AFP、PIVKAII）、胆汁うっ滞の有無、胆道ドレナージの有無、胆汁うっ滞の期間、門脈浸潤の有無、門脈塞栓術の有無
- ② 手術情報。手術日、術式、胆管切除の有無、尾状葉切除の有無、根治度
- ③ 手術合併症。
- ④ 病理組織所見。HCC、ICC、混合型の有無、非癌肝組織、腫瘍径、腫瘍数、肝内転移、肉眼または顕微鏡的脈管侵襲、分化度、ステージ
- ⑤ 再発の有無、再発がある場合は手術日から再発確認日までの期間。生死、死亡の場合は手術日から死亡日までの期間。生存の場合は最終生存確認日。

〔個人情報の取り扱い〕

利用する情報からは、お名前、住所など、患者さんを直接同定できる個人情報は削除します。

また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も患者さんを特定できる個人情報は利用しません。

* 上記の研究にカルテ情報を利用することをご了解いただけない場合は、以下にご連絡ください。

〔問い合わせ先〕

東京都新宿区河田町 8-1

東京女子医科大学病院消化器外科 担当医師 有泉俊一

電話 03-3353-8111 FAX 03-5269-7507

消化器外科に通院中
(または過去に通院・入院されたことのある) の
患者さんまたはご家族の方へ

-臨床研究に関する情報および臨床研究に対するご協力のお願い-

当院では、以下の臨床研究を実施しております。この研究は、通常の診療で得られた過去の記録をまとめることによって行います。この研究に関するお問い合わせなどがありましたら、以下の「問い合わせ先」へご照会ください。

[研究課題名] 「他施設共同での維持透析患者に対する生体肝移植成績の検討」

[研究機関] 東京女子医科大学病院 消化器外科

[研究責任者] 山本 雅一 東京女子医科大学 消化器外科 教授

江川 裕人 東京女子医科大学 消化器外科 教授

[研究の目的]

本邦での 60 歳以上のドナーによる生体肝移植における生体肝移植成績を明らかにする。

[研究の方法]

●対象となる患者さん

平成 7 年 6 月 1 日以降平成 25 年 12 月 31 日までに 60 歳以上の生体ドナーを用いて生体肝移植を施行されたレシピエントと 60 歳以上で部分肝提供を行った生体ドナー。

●利用するカルテ情報

- ① レシピエント情報：年齢、性別、身長、体重、術前状態（入院、自宅待機など）
肝原疾患、Child-Pugh スコア、Model for end-stage liver disease (MELD) スコア、転帰、術後合併症、術後感染症、死亡症例はその原因、術後免疫抑制剤の種類
- ② ドナー情報：年齢、性別、身長、体重、続柄、転帰、術後合併症、死亡症例はその原因
- ③ レシピエント手術情報：手術時間、出血量、グラフト種類、グラフト重量、
虚血時間、脾臓摘出の有無
- ④ ドナー手術情報：手術時間、出血量

[個人情報の取り扱い]

利用する情報からは、お名前、住所など、患者さんを直接同定できる個人情報は削除します。
また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も患者さんを特定できる個人情報は利用しません。

* 上記の研究にカルテ情報を利用することをご了解いただけない場合は、以下にご連絡ください。

[問い合わせ先]

東京都新宿区河田町 8-1

東京女子医科大学病院消化器外科 担当医師 江川 裕人

電話 03-3353-8111 FAX 03-5269-7403

平成 26 年 5 月 19 日

腎臓内科に通院中（または過去に通院・入院されたことのある）の
患者さんまたはご家族の方へ

-臨床研究に関する情報および臨床研究に対するご協力をお願い-

当院では、以下の臨床研究を実施しております。この研究は、通常の診療で得られた過去の記録をまとめることによって行います。この研究に関するお問い合わせなどがありましたら、以下の「問い合わせ先」へご照会ください。

[研究課題名] 高齢者の IgA 腎症の臨床・病理的特徴の解明と適切な治療法の確立のための研究

[研究機関] 東京女子医科大学病院腎臓内科

[研究責任者] 新田孝作 東京女子医科大学腎臓内科主任教授

[研究の目的]

高齢者の IgA 腎症の特徴を明確にし、適切な治療法を確立するため

[研究の方法]

●対象となる患者さん

1992 年より 2011 年までの間に、当施設において腎生検により IgA 腎症と診断された方の中で、20 歳以上で腎生検後当科に半年以上通院された方。

●利用するカルテ情報

性別、生年月日、身長、体重、血圧、主な既往歴、検査結果（腎生検結果、血液検査、尿検査）、使用薬剤、腎予後

[個人情報の取り扱い]

利用する情報からは、お名前、住所など、患者さんを直接同定できる個人情報は削除します。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も患者さんを特定できる個人情報は利用しません。

* 上記の研究にカルテ情報を利用することをご了解いただけない場合は、以下にご連絡ください。

[問い合わせ先]

東京都新宿区河田町 8-1

東京女子医科大学病院腎臓内科 担当医師 森山能仁

電話 03-3353-8111-36441 FAX 03-3356-0293

平成 25 年 9 月 10 日

当院に通院中の患者さんへ（臨床研究に関する情報）

当院では、以下の臨床研究を実施しております。この研究は、通常の診療で得られた過去の記録をまとめることによって行います。このような研究は、厚生労働省の「臨床研究に関する倫理指針」の規定により、対象となる患者さんのお一人ずつから直接同意を得るのではなく、研究内容の情報を公開することが必要とされております。この研究に関するお問い合わせなどがありましたら、以下の「問い合わせ先」へご照会ください。

【研究課題名】 オキシコドン塩酸塩水和物（商品名：オキシコンチン錠）導入クリニカルパス作成を目標とした、オキシコドン塩酸塩水和物の処方解析

【研究機関】 東京女子医科大学八千代医療センター

【研究責任者】 大橋高志（神経内科、科長）

【研究の目的】

オキシコドン塩酸塩水和物による痛みの治療を安全・円滑に行うことを目的とした、クリニカルパス※を作成するため。

※ クリニカルパスとは、主に入院時に患者さんに手渡される病気を治すうえで必要な治療・検査やケアなどをタテ軸に、時間軸（日付）をヨコ軸に取って作った、診療スケジュール表のことです。クリニカルパスは患者さんと医療スタッフ両者のための羅針盤の様な役割を果たします。

【研究の方法】

●対象となる患者さん

平成 21 年 6 月 1 日から平成 24 年 5 月 31 日の間に入院し、かつ入院後オキシコドン塩酸塩水和物を初めて処方された方。

●利用するカルテ情報

- | | |
|---------------------------------|-----------------|
| ①年齢 | ②性別 |
| ③病名 | ⑤処方内容（薬品名、用法用量） |
| ⑥入院日数 | |
| ⑦オキシコドン塩酸塩水和物が開始されてから中止されるまでの日数 | |
| ⑧排便の回数 | |
| ⑨痛いときにのむ頓服薬の服用回数 | |

【個人情報の取り扱い】

利用する情報からは、お名前、住所など、患者さんを直接同定できる個人情報は削除します。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も患者さんを特定できる個人情報は利用しません。

* 上記の研究にカルテ情報を利用することをご了解いただけない場合は、以下にご連絡

ください。

[問い合わせ先]

千葉県八千代市大和田新田 477 番地 96

東京女子医科大学病院薬剤部 部長 小坂好男

電話 047-450-6000 FAX 047-458-7103

平成 26 年 5 月 20 日

小児科に通院中（または過去に通院・入院されたことのある）の
患者さんまたはご家族の方へ

-臨床研究に関する情報および臨床研究に対するご協力をお願い-

当院では、以下の臨床研究を実施しております。この研究は、通常の診療で得られた過去の記録をまとめることによって行います。この研究に関するお問い合わせなどがありましたら、以下の「問い合わせ先」へご照会ください。

[研究課題名] 小児急性脳症の後方視的研究

[研究機関] 東京女子医科大学八千代医療センター小児科

[研究責任者] 寺井 勝 東京女子医科大学八千代医療センター 小児科 教授
高梨 潤一 東京女子医科大学八千代医療センター 小児科 准教授

[研究の目的] 急性脳症症例の臨床情報を解析し、急性脳症の早期診断、重症度・予後予測、よりよい治療法を見つけ出すことです。

[研究の方法]

●対象となる患者さん

急性脳症の患者さんで平成 20 年 4 月 1 日から平成 26 年 4 月 30 日までの間に治療を受けた方

●利用するカルテ情報

年齢、性別、家族歴、既往歴、前投薬、診断名、臨床情報、治療内容、検査結果、画像結果、脳波結果、予後

[個人情報の取り扱い] 利用する情報からは、お名前、住所など、患者さんを直接特定できる個人情報は削除します。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も患者さんを特定できる個人情報は利用しません。

*上記の研究にカルテ情報を利用することをご了解いただけない場合は、以下にご連絡ください。

[問い合わせ先]

千葉県八千代市大和田新田 477-96

東京女子医科大学 八千代医療センター 小児科 担当医師 高梨潤一

電話 047-450-6000 FAX 047-458-7047

平成26年6月6日

第二外科に通院中（または過去に通院・入院されたことのある）の
患者さんまたはご家族の方へ

・臨床研究に関する情報および臨床研究に対するご協力をお願い・

当院では、以下の臨床研究を実施しております。この研究は、通常の診療で得られた過去の記録をまとめることによって行います。この研究に関するお問い合わせなどがありましたら、以下の「問い合わせ先」へご照会ください。

[研究課題名] 腹部外科症例における静脈血栓塞栓症の現況についての検討

[研究機関] 東京女子医科大学病院 第二外科

[研究責任者] 第二外科 主任教授 亀岡 信悟

[研究の目的] 静脈血栓塞栓症は周術期の突然死の一因である。手術は静脈血栓塞栓症のリスク因子であることが知られているが、腹部外科手術における静脈血栓塞栓症についての検討はあまりなされていない。今回、当科における静脈血栓塞栓症の発生状況の把握と術前のD-dimer値(血液検査)とCaprini Score(米国の静脈血栓症ガイドラインで使用されているリスク分類)を比較検討する。これにより独自のリスク分類の作成・予防法の提案を行う。

[研究の方法]

●対象となる患者さん

2012年7月から2013年6月までの間に東京女子医科大学病院第二外科において腹部外科手術を受けた患者様

●利用するカルテ情報

- ①年齢/性別 ②身長/体重 ③病名 ④既往歴 ⑤内服歴 ⑥家族歴 ⑦活動度
⑧手術時間 ⑨中心静脈カテーテルの有無 ⑩血液検査所見 ⑪超音波所見
⑫CT所見

[個人情報の取り扱い]

利用する情報からは、お名前、住所など、患者さんを直接同定できる個人情報は削除します。

また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も患者さんを特定できる個人情報は利用しません。

* 上記の研究にカルテ情報を利用することをご了解いただけない場合は、以下にご連絡ください。

[問い合わせ先]

東京都新宿区河田町8-1

東京女子医科大学病院第二外科

電話 03-3353-8111(内線39251)

担当医師 八田 一葉

FAX 03-5269-7334

平成 26 年 6 月 1 日

リウマチ科に入院または膠原病リウマチ痛風センターに通院されたことのある患者さんまたはご家族の方へ

ー臨床研究に関する情報および臨床研究に対するご協力をお願いー

当院では、以下の臨床研究を実施しております。この研究は、通常の診療で得られた過去の記録をまとめることによって行います。この研究に関するお問い合わせなどがありましたら、以下の「問い合わせ先」へご照会ください。

【研究課題名】 本邦におけるループス腎炎治療薬としてのミコフェノール酸モフェチル使用実態に関する後ろ向き調査研究

【研究機関】 東京女子医科大学病院リウマチ科
東京女子医科大学附属膠原病リウマチ痛風センター

【研究責任者】 川口鎮司、東京女子医科大学リウマチ科、臨床教授

【研究の目的】

ループス腎炎治療における第一選択薬として、ミコフェノール酸モフェチル（商品名：セルセプト®、以下MMF）は海外で広く受け入れられていますが、国内においては適応外として使用が制限されることで患者の不利益が生じています。本研究では、本邦におけるループス腎炎に対するMMFの使用実態を後ろ向きに調査し、その使用方法、効果および安全性を明らかにすることを目的としています。

【研究の方法】

●対象となる患者さん

ループス腎炎の患者さんで、平成 20 年 10 月 1 日から平成 25 年 9 月 30 日の間に MMF による治療を受けた方

●利用するカルテ情報

①患者背景

- ・ 年齢、性別、身長、体重
- ・ ループス腎炎の病型、腎機能障害の有無と重症度
- ・ 併用薬剤：ステロイドの用量、他の免疫抑制剤の種類・用量
- ・ 他の全身性エリテマトーデスの症状

②MMF の用法用量

- ・ 導入期の用法用量（開始用量、最大用量、漸増間隔・漸増期間）
- ・ 維持期の用法用量（維持用量、維持期から MMF を開始した場合には、開始用量、漸増間隔・漸増期間）

※その用量が選択された理由（特に低用量が選択された場合、安全性によるものか、

保険査定を考慮したものか)

※用量が変更された場合、その理由

・ 総投与期間

③有効性 (MMF 投与終了時の尿蛋白・クレアチニン比または 1 日尿蛋白量、クレアチニンクリアランス)

④安全性 (副作用：血球減少、感染症等)

・ 減量や投与中止が必要となった副作用

⑤MMF 投与歴があるが、現在投与していない症例において、投与を中止した理由

[個人情報の取り扱い]

利用する情報からは、お名前、住所など、患者さんを直接同定できる個人情報は削除します。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も患者さんを特定できる個人情報は利用しません。

*上記の研究にカルテ情報を利用することをご了解いただけない場合は、以下にご連絡ください。

[問い合わせ先]

東京都新宿区河田町 8-1

東京女子医科大学病院リウマチ科 担当医師 川口鎮司

電話 03-5269-1725 FAX 03-5269-1726

平成 26 年 6 月 17 日

画像診断・核医学科に通院中（または過去に通院・入院されたことのある）
の患者さんまたはご家族の方へ

－臨床研究に関する情報および臨床研究に対するご協力をお願い－

当院では、以下の臨床研究を実施しております。この研究は、通常の診療で得られた過去の記録をまとめることによって行います。この研究に関するお問い合わせなどがありましたら、以下の「問い合わせ先」へご照会ください。

【研究課題名】 腎部分切除術後の仮性動脈瘤に対する予防的塞栓術の効果についての検討

【研究機関】 東京女子医科大学病院 画像診断・核医学科

【研究責任者】 坂井 修二 東京女子医科大学病院 画像診断・核医学科 主任教授

【研究の目的】 小さな腎腫瘍に対する腎部分切除術（腎の一部を温存する手術）は、腎機能を保護する観点から、現在は標準的な術式となりつつあります。しかし、手術操作により腎を切除した断端部に破裂し易い小さな血管の異常（仮性動脈瘤と言います）が生じ、出血を来す事があります。当院では、術後早期に造影剤を用いた CT 検査でこの血管の異常の有無を評価し、治療が必要な異常が存在した場合は、カテーテルを用いて予防的に塞栓術を実施しています。今回、腎部分切除術後の仮性動脈瘤に対する予防的塞栓術の臨床的な効果について後ろ向きに検討して、その有用性を調査します。

【研究の方法】

●対象となる患者さん

平成 18 年 1 月 1 日から平成 26 年 4 月 30 日の間に腎部分切除術を受けた方

●利用するカルテ情報

年齢、性別、採血データ、CT 画像、血管造影画像、塞栓術の内容、手術所見、病理所見、臨床経過

【個人情報の取り扱い】

利用する情報からは、お名前、住所など、患者さんを直接同定できる個人情報は削除します。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も患者さんを特定できる個人情報は利用しません。

*上記の研究にカルテ情報を利用することをご了解いただけない場合は、以下にご連絡ください。

【問い合わせ先】

東京都新宿区河田町 8-1

東京女子医科大学病院 画像診断・核医学科

担当医師 森田 賢

電話 03-3353-8111 FAX 03-5269-9247

平成 26 年 6 月 23 日

画像診断・核医学科に通院中（または過去に通院・入院されたことのある）
の患者さんまたはご家族の方へ

ー臨床研究に関する情報および臨床研究に対するご協力をお願いー

当院では、以下の臨床研究を実施しております。この研究は、通常の診療で得られた過去の記録をまとめることによって行います。この研究に関するお問い合わせなどがありましたら、以下の「問い合わせ先」へご照会ください。

[研究課題名] 造影 CT の副腎静脈描出能の検討

[研究機関] 東京女子医科大学病院 画像診断・核医学科

[研究責任者] 坂井 修二 東京女子医科大学病院 画像診断・核医学科 主任教授

[研究の目的] 造影剤を使用した CT において、副腎静脈描出に最適な撮像方法（造影剤注入して何秒後から撮像するのがよいか）を調査するためです。その CT の結果を副腎静脈採血の結果と比較します（CT での描出が正しかったかを判断します）。

[研究の方法]

●対象となる患者さん

平成 24 年 1 月 1 日から平成 26 年 5 月 31 日の間に造影 CT および副腎静脈採血を受けた方

●利用するカルテ情報

年齢、性別、副腎静脈の CT 所見、副腎静脈採血の方法・所見、合併症の有無、臨床経過

[個人情報の取り扱い]

利用する情報からは、お名前、住所など、患者さんを直接特定できる個人情報は削除します。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も患者さんを特定できる個人情報は利用しません。

* 上記の研究にカルテ情報を利用することをご了解いただけない場合は、以下にご連絡ください。

[問い合わせ先]

東京都新宿区河田町 8-1

東京女子医科大学病院 画像診断・核医学科

担当医師 仁品 祐

電話 03-3353-8111 FAX 03-5269-9247

平成 26 年 4 月 20 日

泌尿器科に通院中（または過去に通院・入院されたことのある）の 患者さんまたはご家族の方へ（臨床研究に関する情報）

当院では、以下の臨床研究を実施しております。この研究は、研究用に保管された検体を用いて行います。このような研究は、厚生労働省の「臨床研究に関する倫理指針」の規定により、研究内容の情報を公開することが必要とされております。この研究に関するお問い合わせなどがありましたら、以下の「問い合わせ先」へご照会ください。

〔研究課題名〕 ソラフェニブ、スニチニブの効果予測バイオマーカーの探索
(CROSS-J-RCC 付帯研究)

〔研究機関〕 東京女子医科大学病院泌尿器科

〔研究責任者〕 東京女子医科大学泌尿器科主任教授 田邊一成

〔研究の目的〕 CROSS-J-RCC に登録した症例のうち原発巣を摘出した症例に対し、原発巣の免疫組織学的染色を行い、発現蛋白を解析し、ソラフェニブ及びスニチニブの効果予測バイオマーカーを比較、探索することを目的とする。

〔研究の方法〕

●対象となる患者さん

腎癌（疾患名）があり CROSS-J-RCC に参加頂くことを同意された方

●利用する検体およびカルテ情報

検体：病理組織検体（以前に研究用としての保管に同意いただいた分）

カルテ情報：診断名、年齢、性別、身体所見、検査結果（血液検査、画像検査）

〔個人情報の取り扱い〕

利用する情報からは、お名前、住所など、患者さんを直接特定できる個人情報は削除します。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も患者さんを特定できる個人情報は利用しません。

* 上記の研究に検体を利用することをご了解いただけない場合は、以下にご連絡ください。

〔問い合わせ先〕

東京都新宿区河田町 8-1

東京女子医科大学病院泌尿器科

担当医師 高木敏男

電話 03-3353-8111 FAX 03-3356-0293

平成 26 年 6 月 2 日

リウマチ科に通院中（または過去に通院・入院されたことのある）の
患者さんまたはご家族の方へ

ー臨床研究に関する情報および臨床研究に対するご協力のお願いー

当院では、以下の臨床研究を実施しております。この研究は、通常の診療で得られた過去の記録をまとめることによって行います。この研究に関するお問い合わせなどがありましたら、以下の「問い合わせ先」へご照会ください。

【研究課題名】 膠原病患者に対する免疫抑制療法とサイトメガロウイルス感染に関する検討

【研究機関】 東京女子医科大学病院 薬剤部

【研究責任者】 薬剤部 薬剤部長 木村利美

【研究の目的】

日常診療において免疫抑制療法を受けた膠原病患者におけるサイトメガロウイルス感染の現状と、再活性化に関連する因子を明らかにする

【研究の方法】

●対象となる患者さん

膠原病患者さんで、平成 22 年 4 月 1 日から平成 24 年 3 月 31 日の間にサイトメガロウイルス pp65 抗原定性の検査を受けた方

●利用するカルテ情報

患者背景：診断名、年齢、性別、入院時体重、BMI

臨床検査値：総蛋白、アルブミン、ヘモグロビン、血小板、白血球、好中球、リンパ球、アスパラギン酸アミノトランスフェラーゼ、アラニンアミノトランスフェラーゼ、乳酸デヒドロゲナーゼ、アルカリホスファターゼ、クレアチンキナーゼ、尿素窒素、血清クレアチニン、尿酸、C 反応性蛋白、免疫グロブリン、ヘモグロビン A1c、血糖値、フェリチン、中性脂肪、LDL-コレステロール、HDL-コレステロール、サイトメガロウイルス pp65 抗原定性

免疫抑制薬（プレドニン、メドロール、エンドキサン、ソルメドロール）の使用状況：開始日、開始理由、使用量

【個人情報の取り扱い】

利用する情報からは、お名前、住所など、患者さんを直接同定できる個人情報は削除します。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も患者さんを特定できる個人情報は利用しません。

＊上記の研究にカルテ情報を利用することをご了解いただけない場合は、以下にご連絡ください。

[問い合わせ先]

東京都新宿区河田町 8-1

東京女子医科大学病院 薬剤部 小西寿子

電話 03-3353-8111 FAX 03-5269-9154

平成26年6月4日

八千代医療センターにてMRI検査を受けたことのある
患者さんまたはご家族の方へ

ー臨床研究に関する情報および臨床研究に対するご協力をお願いー

当院では、以下の臨床研究を実施しております。この研究は、通常の診療で得られた過去の記録をまとめることによって行います。この研究に関するお問い合わせなどがありましたら、以下の「問い合わせ先」へご照会ください。

〔研究課題名〕 MR Spectroscopy を用いた局所脳温度測定を検討

〔研究機関〕 東京女子医科大学八千代医療センター 画像検査室

〔研究責任者〕 東京女子医科大学八千代医療センター 病院長 寺井 勝

〔研究の目的〕

MRI のデータを用い、脳内の温度の情報を得る方法の有用性を検討するため。

〔研究の方法〕

●対象となる患者さん

頭部灌流異常（疑いを含む）の患者さんで、平成23年1月から平成26年3月の間にMRIの検査を受けた方

●利用するカルテ情報

診断名、年齢、性別、画像診断結果、画像データ

〔個人情報の取り扱い〕

利用する情報からは、お名前、住所など、患者さんを直接同定できる個人情報は削除します。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も患者さんを特定できる個人情報は利用しません。

*上記の研究にカルテ情報を利用することをご了解いただけない場合は、以下にご連絡ください。

〔問い合わせ先〕

千葉県八千代大和田新田 477-96

東京女子医科大学八千代医療センター画像検査室 担当 吉丸 大輔

電話 047-450-6000

八千代医療センターにて MRI 検査を受けたことのある
患者さんまたはご家族の方へ

ー臨床研究に関する情報および臨床研究に対するご協力のお願いー

当院では、以下の臨床研究を実施しております。この研究は、通常の診療で得られた過去の記録をまとめることによって行います。この研究に関するお問い合わせなどがありましたら、以下の「問い合わせ先」へご照会ください。

〔研究課題名〕 MRI を用いた肝臓・膵臓における脂肪含有率の測定

〔研究機関〕 東京女子医科大学八千代医療センター 画像検査室

〔研究責任者〕 東京女子医科大学八千代医療センター 病院長 寺井 勝

〔研究の目的〕

MRI のデータを用い、肝臓・膵臓における脂肪含有率の測定方法の有用性を検討する。

〔研究の方法〕

●対象となる患者さん

脂肪肝（疑いを含む）の患者さんで、平成 23 年 1 月から平成 26 年 6 月までの間に MRI の検査を受けた方

●利用するカルテ情報

診断名、年齢、性別、検査結果（脂肪含有率測定）、画像診断結果、画像データ

〔個人情報の取り扱い〕

利用する情報からは、お名前、住所など、患者さんを直接同定できる個人情報は削除します。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も患者さんを特定できる個人情報は利用しません。

* 上記の研究にカルテ情報を利用することをご了解いただけない場合は、以下にご連絡ください。

〔問い合わせ先〕

千葉県八千代大和田新田 477-96

東京女子医科大学八千代医療センター画像検査室

担当 吉丸 大輔

電話 047-450-6000

平成 26 年 6 月 4 日

八千代医療センター通院中（または過去に通院・入院されたことのある）の
患者さんまたはご家族の方へ

ー臨床研究に関する情報および臨床研究に対するご協力をお願いー

当院では、以下の臨床研究を実施しております。この研究は、通常の診療で得られた過去の記録をまとめることによって行います。この研究に関するお問い合わせなどがありましたら、以下の「問い合わせ先」へご照会ください。

〔研究課題名〕 VISTA(Volume ISotropic Tse Acquisition)を用いた非造影 MR Angiography の検討

〔研究機関〕 東京女子医科大学病院八千代医療センター 画像検査室

〔研究責任者〕 寺井勝 東京女子医科大学八千代医療センター 病院長

〔研究の目的〕 MRI における非造影 MR Angiography の手法の一つである VISTA(Volume ISotropic Tse Acquisition)の有用性を検討するため

〔研究の方法〕

●対象となる患者さん

八千代医療センターに通院または入院中の患者さんで、2013 年 4 月から 2014 年 5 月の間に非造影 MR Angiography の撮影依頼を受けた方

●利用するカルテ情報

年齢、性別、診断名、画像検査結果

〔個人情報の取り扱い〕

利用する情報からは、お名前、住所など、患者さんを直接同定できる個人情報は削除します。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も患者さんを特定できる個人情報は利用しません。

＊上記の研究にカルテ情報を利用することをご了解いただけない場合は、以下にご連絡ください。

〔問い合わせ先〕

千葉県八千代市大和田新田

東京女子医科大学八千代医療センター 担当 池田良弘

電話 047-450-6000 内線 7252

平成 26 年 5 月 21 日

リウマチ科に過去に入院されたことのあるの
患者さんまたはご家族の方へ

ー臨床研究に関する情報および臨床研究に対するご協力のお願いー

当院では、以下の臨床研究を実施しております。この研究は、研究用に保管された検体を用いて行います。この研究に関するお問い合わせなどがありましたら、以下の「問い合わせ先」へご照会ください。

〔研究課題名〕 成人スティル病診断における血清フェリチン、HO-1、CD163測定の臨床的有用性解明のための多施設共同研究

〔研究機関〕 東京女子医科大学病院リウマチ科

〔研究責任者〕 川口鎮司・東京女子医科大学病院リウマチ科・臨床教授

〔研究の目的〕

成人スティル病の診断における血清フェリチン、HO-1、CD163の有用性を検討して、早期診断のための基準を作成することを目的とします。

〔研究の方法〕

●対象となる患者さん

成人スティル病、全身性エリテマトーデス、全身性強皮症、多発性筋炎、皮膚筋炎、血管炎の患者さんで、平成20年4月1日から平成24年3月31日の間にリウマチ科に入院され、研究用の血液の保管に同意された方

●利用する検体およびカルテ情報

検体：血液（以前に研究用としての保管に同意いただいた分）

カルテ情報：①患者基本情報：年齢、性別、身長、体重

②疾患情報：疾患名、治療内容

③血液検査結果：肝機能、腎機能、電解質、血算、フェリチン

④画像検査所見：CT、単純X線

〔個人情報の取り扱い〕

利用する情報からは、お名前、住所など、患者さんを直接同定できる個人情報は削除します。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も患者さんを特定できる個人情報は利用しません。

*上記の研究に検体およびカルテ情報を利用することをご了解いただけない場合は、以下にご連絡ください。

平成 26 年 6 月 30 日

リウマチ科に通院中（または過去に通院・入院されたことのある）の
患者さんまたはご家族の方へ

・臨床研究に関する情報および臨床研究に対するご協力をお願い・

当院では、以下の臨床研究を実施しております。この研究は、研究用に保管された検体を用いて行います。この研究に関するお問い合わせなどがありましたら、以下の「問い合わせ先」へご照会ください。

[研究課題名] 成人スティル病の病型分類と臨床的特徴に関する後ろ向き臨床研究

[研究機関] 東京女子医科大学病院リウマチ科

[研究責任者] 川口 鎮司 リウマチ科 臨床教授

[研究の目的]

成人スティル病の診断にあたり感染症、悪性腫瘍、他の自己炎症性疾患、膠原病との鑑別が必要であり、しばしば鑑別に苦慮する。また病型は寛解に至る症例、発熱、皮疹などの全身症状を反復する症例、持続関節炎をきたす症例があり、予後も異なる。本研究にて臨床症状、所見、血清中の指標が、診断、予後予測、適切な治療の選択に有用な因子の抽出を行う。

[研究の方法]

●対象となる患者さん

成人スティル病の患者さんで、1993 年 1 月 1 日から 2014 年 3 月 31 日の間に当科の外来、入院にて加療した方で、将来の医学研究野ためという目的でポスター掲示等による募集に同意された方

●利用する検体およびカルテ情報

検体：カルテ情報：年齢、性別、身長、体重、疾患名、検査結果（血液検査、画像検査）、治療内容

[個人情報の取り扱い]

利用する情報からは、お名前、住所など、患者さんを直接同定できる個人情報は削除します。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も患者さんを特定できる個人情報は利用しません。

* 上記の研究に検体およびカルテ情報を利用することをご了解いただけない場合は、以下にご連絡ください。

[問い合わせ先]

東京都新宿区河田町 8-1

東京女子医科大学病院リウマチ科

担当医師 市田久恵

電話 03-5269-1725 FAX 03-5269-1726

第二外科に通院中（または過去に通院・入院されたことのある）の
患者さんまたはご家族の方へ

-臨床研究に関する情報および臨床研究に対するご協力をお願い-

当院では、以下の臨床研究を実施しております。この研究は、通常の診療で得られた過去の記録をまとめることによって行います。この研究に関するお問い合わせなどがありましたら、以下の「問い合わせ先」へご照会ください。

[研究課題名] TRC法による大腸癌術中洗浄液中 CEA-mRNA 測定の検討

[研究機関] 東京女子医科大学病院第二外科

[研究責任者] 亀岡信悟 第二外科教授

[研究の目的]

大腸癌術中腹腔洗浄液中の CEA-mRNA 測定の有用性を検討するため

[研究の方法]

●対象となる患者さん

大腸癌の患者さんで、平成年 18 年 12 月から平成 23 年 3 月の間に大腸癌の治療を受けた方

●利用するカルテ情報

年齢、性別、診断名、治療内容、検査結果、画像検査、TRC 法による CEA m-RNA の測定値、病理検査、予後（5 年経過後）、再発の有無

[個人情報の取り扱い]

利用する情報からは、お名前、住所など、患者さんを直接同定できる個人情報は削除します。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も患者さんを特定できる個人情報は利用しません。

* 上記の研究にカルテ情報を利用することをご了解いただけない場合は、以下にご連絡ください。

[問い合わせ先]

東京都新宿区河田町 8-1

東京女子医科大学病院第二外科科 担当医師 瀬下明良

電話 03-3353-8111 FAX 03-5269-7334

平成 26 年 6 月 30 日

東京女子医科大学八千代医療センター母体胎児科に
入院されたことのある患者さんまたはご家族の方へ

ー臨床研究に関する情報および臨床研究に対するご協力をお願いー

当院では、以下の臨床研究を実施しております。この研究は、通常の診療で得られた過去の記録をまとめることによって行います。この研究に関するお問い合わせなどがありましたら、以下の「問い合わせ先」へご照会ください。

〔研究課題名〕 妊娠糖尿病新診断基準導入前後での周産期予後に関する後方視的検討

〔研究機関〕 東京女子医科大学病院東京女子医科大学八千代医療センター

〔研究責任者〕 正岡直樹 東京女子医科大学八千代医療センター母体胎児科・婦人科 教授

〔研究の目的〕

軽症妊娠糖尿病の治療効果を調査するため

〔研究の方法〕

●対象となる患者さん

妊娠糖尿病の疑いがあった患者さんで、平成 18 年 12 月 5 日から平成 26 年 3 月 31 日の間に 75g 経口ブドウ糖負荷試験の検査を受け、妊娠糖尿病と診断された患者さんおよび妊娠糖尿病でなかった正常妊娠の患者さん

●利用するカルテ情報

母体情報、児情報、入院後経過、合併症、血液・生化学・尿検査結果、画像検査結果、治療内容、予後、退院後経過

〔個人情報の取り扱い〕

利用する情報からは、お名前、住所など、患者さんを直接同定できる個人情報は削除します。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も患者さんを特定できる個人情報は利用しません。

*上記の研究にカルテ情報を利用することをご了解いただけない場合でも、利用する情報からは患者さん本人が特定できないため、カルテ情報を利用することをご了解いただけない旨の申し出は受けられません。

〔問い合わせ先〕

千葉県八千代市大和田新田 4 7 7-9 6

東京女子医科大学 八千代医療センター母体胎児科・婦人科 担当医師 中島義之

電話 047-450-6000 (代表)

平成 26 年 4 月 26 日

東京女子医科大学八千代医療センター母体胎児科に
入院されたことのある患者さんまたはご家族の方へ

ー臨床研究に関する情報および臨床研究に対するご協力のお願いー

当院では、以下の臨床研究を実施しております。この研究は、通常の診療で得られた過去の記録をまとめることによって行います。この研究に関するお問い合わせなどがありましたら、以下の「問い合わせ先」へご照会ください。

〔研究課題名〕 胎盤異常の周産期リスクに関する後方視的検討

〔研究機関〕 東京女子医科大学病院東京女子医科大学八千代医療センター

〔研究責任者〕 正岡直樹 東京女子医科大学八千代医療センター母体胎児科・婦人科 教授

〔研究の目的〕

胎盤異常が妊娠中や分娩時にもたらすリスクを調査するため

〔研究の方法〕

●対象となる患者さん

平成 18 年 12 月 5 日から平成 26 年 3 月 31 日の間に入院、分娩された患者さんで、胎盤異常（前置胎盤、胎盤血腫）を認めなかった方。

●利用するカルテ情報

胎盤異常の有無、母体情報、児情報、入院後経過、合併症、血液・生化学・尿検査結果、画像検査結果、治療内容、予後、退院後経過

●研究の方法

同時期に入院、分娩された胎盤異常（前置胎盤、胎盤血腫）を認めた患者さんのグループと、上記の治療内容や予後などのカルテ情報を比較します。

〔個人情報の取り扱い〕

利用する情報からは、お名前、住所など、患者さんを直接同定できる個人情報は削除します。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も患者さんを特定できる個人情報は利用しません。

＊上記の研究にカルテ情報を利用することをご了解いただけない場合でも、利用する情報からは患者さん本人が特定できないため、カルテ情報を利用することをご了解いただけない旨の申し出は受けられません。

〔問い合わせ先〕

千葉県八千代市大和田新田 4 7 7-9 6

東京女子医科大学 八千代医療センター母体胎児科・婦人科 担当医師 中島義之

電話 0 4 7-4 5 0-6 0 0 0 (代表)

平成 26 年 4 月 26 日

東京女子医科大学八千代医療センター母体胎児科に
入院されたことのある患者さんまたはご家族の方へ

-臨床研究に関する情報および臨床研究に対するご協力をお願い-

当院では、以下の臨床研究を実施しております。この研究は、通常の診療で得られた過去の記録をまとめることによって行います。この研究に関するお問い合わせなどがありましたら、以下の「問い合わせ先」へご照会ください。

〔研究課題名〕 産科領域の DIC 治療に関する後方視的検討

〔研究機関〕 東京女子医科大学病院東京女子医科大学八千代医療センター

〔研究責任者〕 正岡直樹 東京女子医科大学八千代医療センター母体胎児科・婦人科 教授

〔研究の目的〕

産科 DIC(播種性血管内凝固症候群)の治療効果を調査するため

〔研究の方法〕

●対象となる患者さん

産科 DIC(播種性血管内凝固症候群)の患者さんで、平成 18 年 12 月 5 日から平成 26 年 3 月 31 日の間に治療を受けた方

● 利用するカルテ情報

母体情報、児情報、入院後経過、合併症、血液・生化学・尿検査結果、画像検査結果、治療内容、予後、退院後経過

〔個人情報の取り扱い〕

利用する情報からは、お名前、住所など、患者さんを直接同定できる個人情報は削除します。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も患者さんを特定できる個人情報は利用しません。

*上記の研究にカルテ情報を利用することをご了解いただけない場合でも、利用する情報からは患者さん本人が特定できないため、カルテ情報を利用することをご了解いただけない旨の申し出は受けられません。

〔問い合わせ先〕

千葉県八千代市大和田新田 4 7 7-9 6

東京女子医科大学 八千代医療センター母体胎児科・婦人科 担当医師 中島義之

電話 047-450-6000 (代表)

平成 26 年 6 月 30 日

東京女子医科大学八千代医療センター母体胎児科に
入院されたことのある患者さんまたはご家族の方へ

ー臨床研究に関する情報および臨床研究に対するご協力をお願いー

当院では、以下の臨床研究を実施しております。この研究は、通常の診療で得られた過去の記録をまとめることによって行います。この研究に関するお問い合わせなどがありましたら、以下の「問い合わせ先」へご照会ください。

〔研究課題名〕 高齢妊娠および卵子提供後妊娠の周産期リスクに関する後方視的検討

〔研究機関〕 東京女子医科大学病院東京女子医科大学八千代医療センター

〔研究責任者〕 正岡直樹 東京女子医科大学八千代医療センター母体胎児科・婦人科 教授

〔研究の目的〕

高齢妊娠および卵子提供後妊娠の妊娠中および分娩時のリスクを調査するため

〔研究の方法〕

●対象となる患者さん

高齢妊娠および不妊治療後の妊娠（卵子提供後妊娠を含む）の患者さんで、平成 18 年 12 月 5 日から平成 26 年 3 月 31 日の間に入院、分娩された方。同期間に入院、分娩された患者さんで、高齢妊娠および不妊治療後の妊娠でない正常妊娠の患者さん。

●利用するカルテ情報

母体情報、児情報、入院後経過、合併症、血液・生化学・尿検査結果、画像検査結果、治療内容、予後、退院後経過

〔個人情報の取り扱い〕

利用する情報からは、お名前、住所など、患者さんを直接同定できる個人情報は削除します。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も患者さんを特定できる個人情報は利用しません。

＊上記の研究にカルテ情報を利用することをご了解いただけない場合でも、利用する情報からは患者さん本人が特定できないため、カルテ情報を利用することをご了解いただけない旨の申し出は受けられません。

〔問い合わせ先〕

千葉県八千代市大和田新田 4 7 7-9 6

東京女子医科大学 八千代医療センター母体胎児科・婦人科 担当医師 中島義之

電話 047-450-6000（代表）

平成 24 年 6 月 2 日

-臨床研究に関する情報および臨床研究に対するご協力をお願い-

当院では、以下の臨床研究を実施しております。この研究は、通常の診療で得られた過去の記録をまとめることによって行います。この研究に関するお問い合わせなどがありましたら、以下の「問い合わせ先」へご照会ください。

【研究課題名】 開心術における周術期の出血量、血液製剤使用量に対してトラネキサム酸およびトロンボエラストメトリー（ROTEM）使用の有用性

【研究機関】 東京女子医科大学東医療センター麻酔科

【研究責任者】 東京女子医科大学東医療センター麻酔科 小森 万希子

【研究の目的】

心臓手術の際に、血液凝固機能をモニタリング、なおかつ血液凝固機能に影響する薬剤を使用することにより、出血量や血液製剤の使用量にどのような影響を及ぼすかを検討するため。

【研究の方法】**●対象となる患者さん**

2010 年 1 月～12 月、2012 年 12 月～2013 年 9 月の間に人工心肺を使用して心臓手術をした患者さん

●利用するカルテ情報

- ① 基本情報：年齢、身長、体重、合併症、手術歴、服薬歴（血液凝固能に影響する薬物使用の有無）
- ② 麻酔情報：麻酔薬種類と投与量と輸液量、血液製剤の使用状況
- ③ 手術情報：手術記録上の情報
- ④ 人工心肺情報：充填薬液、心筋保護液、その他薬剤使用状況
- ⑤ 血液検査結果：血液凝固能
- ⑥ 術後情報：集中治療室滞在日数、合併症、術後の入院日数

【個人情報の取り扱い】

利用する情報からは、お名前、住所など、患者さんを直接同定できる個人情報は削除します。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も患者さんを特定できる個人情報は利用しません。

*上記の研究にカルテ情報を利用することをご了解いただけない場合は、以下にご連絡

ください。

[問い合わせ先]

東京都新宿区河田町 8-1

職名 東京女子医科大学東医療センター麻酔科 講師

氏名 市川 順子

連絡先 03-3810-1111 (院内 PHS 7823)

平成 26 年 3 月 1 日

通院中または入院されている 患者さんまたはご家族の方へ

-臨床研究に関する情報および臨床研究に対するご協力のお願い-

当院では、以下の臨床研究を実施しております。この研究は、研究用に保管された検体を用いて行います。この研究に関するお問い合わせなどがありましたら、以下の「問い合わせ先」へご照会ください。

【研究課題名】 トリグリセライド (TG) は遊離グリセライドを含めて測定すべきか

【研究機関】 東京女子医科大学病院、順天堂大学医学部、信州大学医学部、慶應義塾大学病院、東邦大学医療センター佐倉病院、新東京病院

【研究責任者】 糖尿代謝内科 教授 佐藤麻子

【研究の目的】

現在、トリグリセライドの測定法は日本と海外で異なり、日本の測定法は遊離グリセライドを消去する「消去法」を用いている。これに対し海外の測定法は遊離グリセライドを消去しない「未消去法」を用いている。今回、この遊離グリセライドに着目し日本と海外の測定法の違いに濃度の差があるのかを検討する。

【研究の方法】

●対象となる患者さん

当院外来を受診された患者さん及び入院されている患者さんで、倫理委員会承認日から平成 27 年 3 月 30 日の間に診療時採血（ルーチン採血）でトリグリセライド (TG)・HDL・トータルコレステロール、遊離を測定した患者さんの血液

●利用する検体およびカルテ情報

検体：血液（血清）

カルテ情報：

年齢、性別、身長、体重、検査結果（血液検査）

【個人情報の取り扱い】

利用する情報からは、お名前、住所など、患者さんを直接同定できる個人情報は削除します。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も患者さんを特定できる個人情報は利用しません。

*本研究には、どなたの検体か判らないようにした残血清を使用しますので、検体・カルテ情報の利用を了解しない旨のお申し出を受けることができませんので、ご了承ください。

[問い合わせ先]

東京都新宿区河田町 8-1

東京女子医科大学病院糖尿代謝内科

担当医師 佐藤 麻子

電話 03-33538-112 (内線 21037)

[事務局（相談窓口）]

〒113-8421

東京都文京区本郷 2-1-1

順天堂大学医学部 臨床検査医学

平山 哲

電話 03-5813-3111 (PHS 71384)

FAX 03-5684-1609

Eメール sthiraya@juntendo.ac.jp

平成 26 年 4 月 01 日

歯科口腔外科に通院中（または過去に通院・入院されたことのある）の
患者さんまたはご家族の方へ

ー臨床研究に関する情報および臨床研究に対するご協力のお願いー

当院では、以下の臨床研究を実施しております。この研究は、通常の診療で得られた過去の記録をまとめることによって行います。この研究に関するお問い合わせなどがありましたら、以下の「問い合わせ先」へご照会ください。

〔研究課題名〕 新規抗凝固剤投与下における抜歯の安全性に関する多施設共同研究

〔研究機関〕 東京女子医科大学病院歯科口腔科

〔研究責任者〕 安藤智博 東京女子医科大学 歯科口腔外科 主任教授

〔研究の目的〕 新規抗凝固剤投与下における抜歯の安全性に関する横断的調査研究

〔研究の方法〕

●対象となる患者さん

研究期間中に新規抗凝固薬を服用している患者さんで女子医大病院で抜歯した患者さん

●利用するカルテ情報

年齢、性別、抜歯の部位、抜歯の方法、麻酔の方法、歯肉の状態、服用している薬、
血圧、血液検査（血液凝固検査、腎機能検査）

〔個人情報の取り扱い〕

利用する情報からは、お名前、住所など、患者さんを直接同定できる個人情報は削除します。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も患者さんを特定できる個人情報は利用しません。

*上記の研究にカルテ情報を利用することをご了解いただけない場合は、以下にご連絡ください。

〔問い合わせ先〕

東京都新宿区河田町 8-1

東京女子医科大学病院歯科口腔外科

担当医師 安藤智博

電話 03-3353-8111

FAX 03-5269-2367

平成 26 年 6 月 26 日

一般内科に通院中（または過去に通院されたことのある）の
患者さんまたはご家族の方へ

-臨床研究に関する情報および臨床研究に対するご協力をお願い-

当院では、以下の臨床研究を実施しております。この研究は、通常の診療で得られた過去の記録をまとめることによって行います。この研究に関するお問い合わせなどがありましたら、以下の「問い合わせ先」へご照会ください。

[研究課題名] 一般内科外来における愁訴に関する多施設共同研究
～復職医師が外来を担うための教育体制整備に向けて～

[研究機関] 東京女子医科大学 男女共同参画推進局 女性医師再教育センター

[研究責任者] 東京女子医科大学 男女共同参画推進局 女性医師再教育センター長
女性生涯健康センター 教授 檜垣 祐子

[研究の目的]

一般内科初診外来に来る方の愁訴とその後の経過、病名を明らかにするため

[研究の方法]

●対象となる患者さん

2011 年 6 月 15 日から 2011 年 7 月 15 日、および 2012 年 1 月 16 日～2 月 15 日の間に
一般内科初診外来を受診したかた

●利用するカルテ情報

年齢、性別、問診票の内容、治療内容、診断名、処方内容、受診歴、転帰

[個人情報の取り扱い]

利用する情報からは、お名前、住所など、患者さんを直接同定できる個人情報は削除します。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も患者さんを特定できる個人情報は利用しません。

* 上記の研究にカルテ情報を利用することをご了解いただけない場合は、以下にご連絡ください。

[問い合わせ先]

東京都新宿区河田町 8-1

東京女子医科大学 男女共同参画推進局 女性医師再教育センター
担当医師 横田 仁子

電話 03-3353-8111 FAX 03-5269-7378

SMART コンソーシアムに登録の患者さん
東京女子医科大学附属遺伝子医療センターに通院中
の患者さんまたはご家族の方へ

3154

ー臨床研究に関する情報および臨床研究に対するご協力をお願いー

日頃より脊髄性筋萎縮症(SMA)の患者登録にご協力、ありがとうございます。皆様には、大変お待たせをいたしました。SMA コンソーシアムの Web サイト (<http://www.sma-rt.org/>) において、登録をしてくださった皆様に、情報をお届けする準備が整いました。

当院では、以下の臨床研究を実施しております。この研究は、アンケートにお答えいただき、結果をまとめることによって行います。別紙の事項につきまして、アンケート調査を企画いたしました。患者さんの運動機能およびの自然歴について、アンケートにておうかがいしたく、大変お手数でございますが、ご記入の上、東京女子医科大学附属遺伝子医療センター宛、〇月〇日までに、ご返送くださいますようお願い申し上げます。この研究に関するお問い合わせなどがありましたら、以下の「問い合わせ先」へご照会ください。

【研究課題名】 「脊髄性筋萎縮症の自然歴調査研究」

【研究機関】 東京女子医科大学附属遺伝子医療センター

【研究責任者】 斎藤加代子 東京女子医科大学附属遺伝子医療センター 所長・教授

【研究の目的】 治験薬の効果判定には、投与された薬が有効であるのか、安全であるのか、が重要です。そのためには、SMAの自然経過について評価と検討を行い、治験薬の投与を受けた方との比較をすることが必要となります。つまり、治験薬の投与を受けた方の経過が、SMAの自然経過と比べて進行していない、または改善している場合に、その治験薬が有効であると評価できます。また、新たな治療薬の開発においても、SMAの自然経過との比較は重要な要素となります。

【研究の方法】

●対象となる患者さん

- ・ SMART (spinal muscular atrophy research & treatment) コンソーシアムによる患者登録システムに登録した方。
- ・ 脊髄性筋萎縮症 (SMA) の患者さんで、平成 26 年〇月〇日以降に、東京女子医科大学附属遺伝子医療センターの外来受診を受けた方。

●利用する情報

ご返答いただいたアンケートの内容を利用します。

【個人情報の取り扱い】

利用する情報からは、お名前、住所など、患者さんを直接同定できる個人情報は削除します。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も患者さんを特定できる個人情報は利用しません。

*上記の研究にカルテ情報を利用することをご了解いただけない場合は、以下にご連絡ください。

【問い合わせ先】

東京都新宿区河田町 8-1 東京女子医科大学病院附属遺伝子医療センター 担当：金子 芳
電話 03-3353-8111 (内線 34236) FAX 03-5269-7594

平成 24 年 7 月 1 日

女子医大に通院中（または過去に通院・入院されたことのある）の 患者さんまたはご家族の方へ

-臨床研究に関する情報および臨床研究に対するご協力をお願い-

当院では、以下の臨床研究を実施しております。この研究は、通常の診療で得られた過去の記録をまとめることによって行います。この研究に関するお問い合わせなどがありましたら、以下の「問い合わせ先」へご照会ください。

[研究課題名] 進行性脳白質障害の疾患概念の確立と鑑別診断法の開発

[研究機関] 東京女子医科大学統合医科学研究所

[研究責任者] 三谷昌平 東京女子医科大学 統合医科学研究所 所長

[研究の目的]

希少難病である進行性脳白質障害についての本邦における実態把握を行い、疾患概念の確立を行うとともに、正確かつ効率的な鑑別診断法を開発し、より効率的に診断して医療レベルを向上させることが目的です。

[研究の方法]

●対象となる患者さん

進行性脳白質障害と診断された患者さんで、平成 16 年 4 月 1 日以降の受診歴のある方

●利用するカルテ情報

診断名、年齢、性別、身体所見、検査結果（頭部 MRI 画像所見）。

[個人情報の取り扱い]

利用する情報からは、お名前、住所など、患者さんを直接同定できる個人情報は削除します。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も患者さんを特定できる個人情報は利用しません。

*上記の研究にカルテ情報を利用することをご了解いただけない場合は、以下にご連絡ください。

[問い合わせ先]

東京都新宿区河田町 8-1

東京女子医科大学病院統合医科学研究所

担当医師 山本俊至

電話 03-3353-8111 FAX 03-5269-7667

平成 25 年 5 月末日

消化器外科に通院中の患者さんへ（臨床研究に関する情報）

当院では、以下の臨床研究を実施しております。この研究は、通常の診療で得られた過去の記録をまとめることによって行います。この研究に関するお問い合わせなどがありましたら、以下の「問い合わせ先」へご照会ください。

〔研究課題名〕 肝門部胆管癌における multi-detector CT 導入による進展度診断向上の検討

〔研究機関〕 東京女子医科大学病院 消化器外科

〔研究責任者〕 山本雅一 消化器外科 教授

〔研究の目的〕 肝門部胆管癌における MDCT の進展度診断に対する有用性を検討した

〔研究の方法〕

●対象となる患者さん

肝門部胆管癌の患者さんで、平成 12 年 1 月 1 日から平成 25 年 12 月 31 日の間に手術治療を受けた方

●利用するカルテ情報

年齢、性別、黄疸、Bismuth 分類、胆道ドレナージ、門脈塞栓術、生存期間、術式、出血量、手術時間、合併症発生率、在院死亡率、組織型、リンパ管侵襲、静脈侵襲、神経周囲浸潤、周囲進展度、リンパ節転移、リンパ節転移部位、遠隔転移、癌遺残度（浸潤癌、上皮内癌）、肝側胆管断端、十二指腸側胆管断端、剥離面、肝内直接浸潤、肝十二指腸間膜浸潤、肝転移、腹膜播種、補助療法、転帰、UICC分類

〔個人情報の取り扱い〕

利用する情報からは、お名前、住所など、患者さんを直接同定できる個人情報は削除します。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も患者さんを特定できる個人情報は利用しません。

＊上記の研究にカルテ情報を利用することをご了解いただけない場合は、以下にご連絡ください。

〔問い合わせ先〕

東京都新宿区河田町 8-1

東京女子医科大学病院 消化器外科 担当医師 樋口亮太

電話 03-3353-8111（内線 25116） FAX 03-5269-7507